

人が人生の意味は何であるのかと問うのではなく
むしろ、我々が人生に”問われて”いるのだ。

自分の人生の責任を引き受けることでしか、
その”問いかけ”に『答える』ことはできない。

～ヴィクトール・フランクル（ユダヤ人心理学者）～

<【サトリ式】オンラインコーチングプログラム>

【The Answer】

～名もなき英雄の旅路 Nameless Hero's Journey～

歴史上の英雄や成功者たちが実践し、体現している、
人間の理性に与えられた【創造者の力】を目覚めさせる、

秘密のプログラムについて、これから解説していきます。

とても重要なことを語っていくので、このレター（レポート）は
ぜひダウンロードしてデスクトップなどに保存し、
何度も読み返すことをオススメします。

素質のある人であれば、このレターを読むだけで
セルフイメージが大きく変わるはずです。

『常識』を覆す自己変革メソッド

はじめまして、サトリこと金山と申します。

これから、『目標達成』や『願望実現』の秘密や、あなたが望む通りの人生を歩むこと、あなたの人生をあなたの好きなようにデザインして生きるための方法について語っていきます。

僕は普通の会社員をしていた35歳のときに、
『ある重要な事実』に気づいて以来、

自分の人生に、望む変化を起こせるようになりました。

その結果、わずか1年ほどで会社員の仕事から解放され、やりたいことを自由にやる生き方にシフトできました。

僕は、それからさらに1年～数年のうちに、

- ・**お金の自由**（収入が20倍ほどになった）
- ・**健康の自由**（肉体年齢が若返って健康になった）
- ・**人間関係の自由**（好きな人とだけ関わる、理想的な結婚生活）
- ・**自己実現の自由**（好きなことをやって感謝され、幸せに）
- ・**運命・カルマからの自由**
(生まれや育ちのコンプレックスからの解放、後悔のない毎日)

という、僕が考える、人間らしく生きるために必須な、
『5つの自由』をすべて実現してしまいました。

今回、このレター（レポート）内で、その秘密をすべて解説します。

レポートの最後では、僕が提供している『特別なプログラム』の案内もありますが、無理に参加してもらうことが目的ではないです。

まずは、僕が自分の人生で起こしてきた『自己変革』がどういうものであったのか？ 僕の人生の中で、どういうことが起こってきたのか、ということを共有したいと思っています。

それを丁寧に語っていくので、お読みいただければ幸いです。

魔法を信じることなく生きていました

僕は、もともと理系の大学出身、ということもあり、人生の中で起こる『魔法』のようなことには懐疑的で、

科学的な説明のつかないものを信じずに生きてきた人間です。

『思考は現実化する』くらいならまだしも、『引き寄せの法則』なんてものは非科学的なオカルトだと思って遠ざけてきました。

自分の人生に起こせることは、自分が努力して行動した結果だけ、という、ある意味、健全な信念を持って生きていたんです。

社会人になったばかりの頃の僕は、自己啓発書やビジネス書を読んで、そこに書かれたことを素直に学び、コミュニケーションスキル

などの社会人スキルを磨くことに励んでいました。

ですが、そういったことをいくら学んでいっても、僕の生きる、現実的な境遇はあまり変わりませんでした。

いくらそういったものを学んで『自己成長』しても、会社の上司や、組織の仕組み、社会のシステムなど、

僕にはコントロールできないものに、自分の人生の主導権を握られている感覚があったんです。

そういった日々を送りながら、いつしか、

『このまま何十年も、今と変わらない同じようなパラダイムで生きるしかないのかな、、、？』

という、緩やかな『絶望感』、『虚無感』のようなものを、心の底に感じながら生きるようになっていました。

生まれた時点でついていた差を埋められず、自分が生まれたときにはすでに敷かれていた、社会のレールに乗って、

想定範囲内の人生しか送ることができないのか？

という思いは、僕にとっては恐ろしくて絶対に認めたくない考えだったのです。

大人になることは絶望することなのか？

僕は、生まれも育ちもあり良くありませんでした。

少なくとも平均以下の環境だったと思います。

子どもの頃は世間知らずで、あまり気にしていませんでしたが、

中学高校、そして大学と進むにつれ、世の中には、自分よりも良い環境で生まれ育つことができて、才能豊かな人たちがたくさんいることを知って、コンプレックスに悩まされました。

生まれたときについた差は人生で埋まらないのか？

生まれ育った環境に恵まれた人には、一生かけても敵わないのか？

これは、僕の前半生をずっと支配してきた、一つの大きなテーマだったと自覚しています。

社会人になってからは、表面上は前向きでポジティブになり、自己啓発書やビジネス書を読むことで、自分を成長させ、

自分の能力を高めることで、自分の境遇を変えることができるんじゃないか、と期待を持って生きていた時期もありました。

でも、どこかで壁にぶつかって諦めていく自分がいました。

日本という国は結局、民主主義と言いながら、固定された階級社会にすぎないんじゃないかな？

『身の丈に合った』という言葉でごまかして、夢や望みを諦めて、現状に妥協しながら人生を送るしかないのか？

これまでの人生と今、生きている現状の延長でしかない、残りの人生を、消化試合的に進めていくしかないのか？

30代に入って、一通り、世の中の仕組みや社会の構造がわかつてくると、

抜け出せない檻の中の人生を歩んでいるような感覚がありました。

大人になるというのは、望みを絶たれる、ということなのか、、、

教育業界で毎日、子どもたちと接する仕事をしていたことも、暗い思いに囚われることに関係していたのかもしれません。

人生を変えたいなら目標設定が必要

そんな最中、30歳になったばかりの頃に、読んでいたブログの著者が『人生の目標設定』について書いていたのを目にしました。

『去年、書いた人生の夢は、100個中90個叶いました！』

経済的に成功している人のブログだったので、素直に信じ、
僕もお正月に、『人生の中で実現したい夢』とやらを、
ノートに書き綴ってみることにしました。

結果は、、、
見事なくらいに**惨敗**です。

20個ほど書いて、かろうじて『叶ったかな？』と言えるのが、
1つか2つの項目くらい。

自分の能力のなさ、というか願望を実現する力が
いかに低いのかを思い知らされるだけの結果に終わりました、、、

ブログの著者は、そりゃ、ナン億円も稼いでる人なんだから、
お金を使えば叶う夢なんて、いくらでも叶うよね、、、

どんな自己啓発書を読んでも、自分の人生や
自分が生きる現状に当てはまらないことが多すぎるし、

肝心なところがボカされているように感じました。

すでに成功した人が後から振り返って、
自慢話をしているだけ、みたいな印象です。

自己啓発書で人生変わるならみんな成功してるはず

そもそも、世の中にこれだけ自己啓発書が溢れているのに、実際に成功して、願望を実現しながら、自分の人生を生きられている人が、とても少ないよう感じました。

みんな、本屋で自己啓発書を手にとって学んでいる割に、自分の生きる境遇を変えられずに、現状に留まっています。

世に溢れる自己啓発書は、実学として、日常や人生の中で、直接役に立つことを学んで身に付けるものではなく、

読んで気分が良くなるだけの、エンタメ的なものでしかない。

時間つぶしや暇つぶしなものでしかないんじゃないのか。

そしてそういう、実際には役に立たない
『読み物』でしかないノウハウに捕まって、

自分の人生そのものである貴重な『時間』を浪費させられている。

そんな構図が観えた気がしてゾッとしました、、、

これが30代前半くらいの当時の僕のリアルな状況でした。

あなたは今、どういう状況にいますか？

もしかすると、僕と同じような状況にいて、
『緩やかな絶望感や虚無感』に浸っているかもしれません。

それよりは少しマシな状況に抜け出して、
人生に前向きな希望を抱けているのかもしれませんし、

僕が味わった虚無感に至るほども、
人生経験を積んでいないのかもしれません。

程度の差こそあれ、30代40代と歳を重ねるにつれ、
自分が生きている社会のこと、そして自分自身への理解が
深まっていくとどこかで『頭打ち』のような感覚が現れませんか？

仮に、そういう状況に陥っていましたとしても、
それはあなたのせいではない、と断言できます。

本物のメソッドを教えられる人が少なくて、
そういう情報にリーチできる人が少なすぎるのです。

このレターをこうして読んでいる時点で、あなたはあの頃の
僕のように『自分の人生を生きられるようになりたい』という
意思に目覚めたものの、

でも、その手段、道筋が見えずに摸索して
苦しんでいるのかもしれませんね。

それは一つの始まりなんです

新約聖書の中に

『求めよ、さらば与えられん』という言葉があります。

多くの人は、現代の物質的に豊かになった社会の中で生きながら、生まれた時にすでに敷かれていたレールの上を歩むことに、

なんの疑問や問題意識も抱くことすらできずにいます。

会社員時代の僕のことを振り返ってみても、
周りの同僚や上司たちは、僕のように、

『本気で人生を変えたい！』

という意思を持っていないように観えました。

もちろん、彼らが、自分たちの境遇に 100% 満足していたか？
というと、そうではないことは明らかでした。

毎日、仕事や顧客や会社の愚痴を言いながら、
それでも何かを変えようとするでもなく、

現状に甘んじて生きているように観えました。

そういう人が世の中の多数派だと感じています。

僕自身の人生に起こったことを振り返ってみても、
あなたが、

『自分の人生を生きたい』

という問題意識に目覚めた結果として、今ここで、
このレターを読んでいるということには、

とても『重要な意味』があるのです。

虚無感の中で出会った一つの光

人生で初めての目標設定をして、
2、3年経った頃のある日、

僕自身の人生観に大きな変革を起こすような、
重要なもののとの『出会い』がありました。

それが、

『引き寄せの法則』

『潜在意識の活用』

いわゆる、スピリチュアル的なティストのある、
成功法則のようなものの情報です。

冒頭にも書いたように、僕は理系人間で魔法を信じなかつたので、
そういう類のものはすべてオカルトだと思って否定していました。

でも、今回はきっかけが違ったのです。

その少し前に、人生を変えようと思って僕は、会社員をしながら、投資やFXトレーディングを学びながら実践するようになっていました。

『神頼み』などではなく、現実的に、自分の生きる境遇を変えるための手段として投資やデイトレーディングを学び始め、

『この人の考え方は参考になるなあ』

と思って勉強のために読んでいたブログの著者が、

『投資をするまでのメンタルを鍛えるのに効果的だ』

という説明で勧めていたのが、引き寄せの法則に関する書籍（DVD）と、潜在意識に関する書籍でした。

『引き寄せの法則』の情報自体には、それ以前にも出会ったことがありました。

ですが、

『願いを宇宙に届けたら、
宇宙の法則があなたの元にそれを届けます』

なんて理系脳には怪しすぎて絶対に信じようと思いませんでした。

でも、これを、

『宇宙』とか『宇宙の法則』ではなく、
『潜在意識』という心理学的な用語に変えてみると、

なんだか科学的で、理系脳にも説明がつく気がしたんです。

ここで僕の信念体系が、**極端な方向転換**をしてしまいました。

光に観えたものはワナだった

僕はそれまでの半生で、こういう『目に見えないスピリチュアルな世界』のロジックは、すべて否定してきました。

中高大と、キリスト教系の学校に通い、授業の中で聖書を読まされていましたが、心の底ではバカにしていました。

いい大人にもなって、神さまとか信じてるのは、
非科学的で迷信的だ、くらいに思っていたのです。

でもここで、一度、方向転換したことで、
実はその『神さま』とか『スピリチュアル』というのも、

現代科学的に説明のつくものなんだ、ということを考え始めました。

そう考え始めると、理系脳がさらに暴走を始めます。

今度は、そういうオカルトに見えるものの、

**背景にどういうロジックがあって、
どういうメカニズムが作用しているのか？**

そういうことに興味が湧いて、
マニアックに探究していくことになったのです。

こうして、僕の人生の中で最初の、
『スピリチュアルとの和解』が起こったわけですが、

これでめでたしめでたし、とはいきませんでした。

これは、巧妙に仕掛けられたワナだったんです。

このことがきっかけで、僕はここから、僕の人生の中で
もっとも深い、暗闇のトンネルへと突入することになりました。

破滅への序曲が始まった

それまでの僕は、科学的な説明のつくこと、
自分の中でロジックの通ることだけを信仰する人間でした。

でも、『スピリチュアルとの和解』をきっかけにして、
実は目に見えない世界にもロジックがあって、

不思議で奇跡や魔法に見えるようなことも、
人生に起こり得るんだ、ということを信じるようになりました。

その結果、僕の中で、これまで無意識に押さえつけてきた、
欲望や煩悩が暴走しました。

それまでの人生の中で、自分の現状を見て、現実的な思考で、
『どうせ無理だから』と思って諦めていたようなことも、

**『引き寄せの法則を使えば、引き寄せられないものなんて
ないんだから、ちゃんと【願望】として願わなきゃ』**

というような思考に変わっていったんです。

そうして、無意識に押さえ込んでいた**欲望や煩悩**のエネルギーが
暴走した一方で、

**『引き寄せの法則をうまく使うには、ネガティブな思考をなくし、
なにごともポジティブに考えないといけない』**

というような中途半端な誤った理解があって、

自分の心の中の闇から目を背け、無理矢理に
ポジティブに振る舞うようになっていきました。

その結果やってきたのが、
ブログやメルマガでも詳しく書いている、
【カルマの燃焼】という経験です。

自分の望まないことがどんどん現実化していって、
精神的に追い詰められていった末に、最終的に、
『死ぬよりも辛いこと』を経験したのです。

本当に大きな、大きな精神的なダメージです。

『こんな痛みを経験するくらいなら、
いっそ殺された方がマシだ』

と思うような一撃を、僕の自我がリアルに経験しました。

カルマの炎の中で僕は**転生**した

でも、それが実は、僕自身の『意識のシフト』、魂の成長の過程で必要なプロセスだったと、後になってから理解しました。

【カルマの燃焼】の中で経験した、
『望まないことがどんどん現実化する』というのは、

僕自身の**『創造の力』**の暴走の結果だったのです。

一連のことを経験して、意識が明確にシフトした後、僕には、

自分の心、【精神：マインド】という器に秘められている
パワーの本質が、急に理解できるようになったのです。

既存の自己啓発書にも、スピリチュアルな成功法則本にも、
一切書かれていなかった、『自己変革』を起こし、
自分が生きる現実を変えるまでの重要な本質です。

それまでの人生の中で学んで、
探究してきたことが、すべてつながった瞬間です。

文字通り、『覚醒』したような感覚がありました。

- ・潜在意識とはどういうものなのか？
- ・引き寄せの法則とは、一体何を表しているのか？
- ・思考はどうやって現実化するのか？
- ・セルフイメージとは何でできているのか？
- ・ユダヤやプロテstant信者に成功者が多いのはなぜか？
- ・シリコンバレーの成功者たちがわざわざ日本に来て
仏教や禅を学ぶのはなぜなのか？
- ・瞑想は何のためにやるのか？
- ・瞑想をすることによって脳の中のどこが活性化するのか？
- ・また、そこが活性化するとどういう現象が起こるのか？
- ・実現する目標（ゴール）と実現しないゴールの違いとは？

自分の中にあった様々な『問い合わせ』が氷解していきました。

それ以降、僕は自分の【理性】というものを使って、
自分の中にいる【創造主の力】を自在に操れるようになりました。

2012年2月に会社を退職し、
半年後には月収が10倍を超えるようになりました。

人間関係も根本から変わり、自分の人生の中に
登場するキャストを、自分で選べるようになりました。

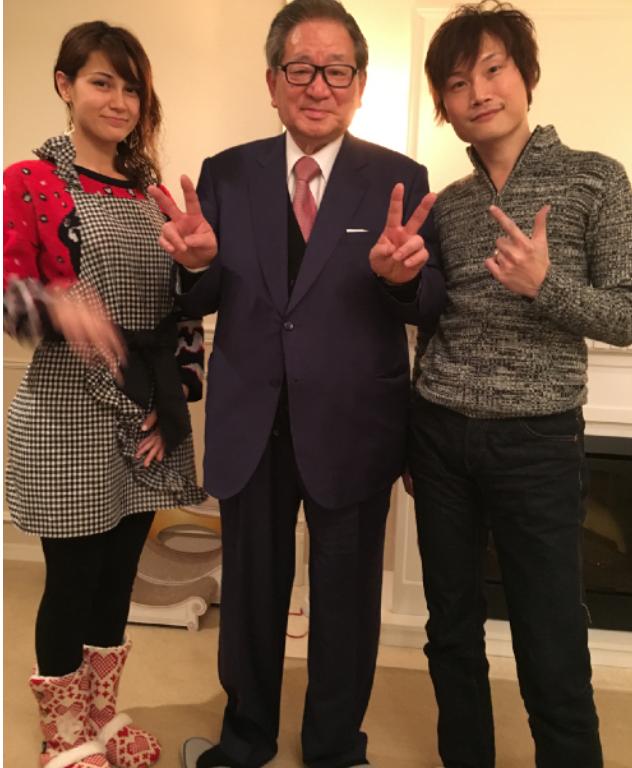
あらゆる種類のストレスからも解放され、
肉体年齢も、実年齢より15歳以上若返りました。

理想の恋愛パートナーとも出会って結婚もしました。
1年で15冊も出版し、それぞれベストセラーになりました。

仲間たちと海外を飛び回る生活を楽しみ、
海外で国営放送のテレビに出演したりもしました。

上場企業の会長や国内外の政財界の大物たち、世界を舞台に
活躍する超一流の人たちとも親しく交流するようになりました。

今までの人生ではあり得なかった大きな変化が起こったんです。



欠けていた魂というピース

既存の自己啓発書やスピリチュアル書、
その他のあらゆる自己変革プログラムがなぜ、

それを学んでも、機能する人と機能しない人に分かれるのか？

その理由もわかりました。

情報が断片的でしかないから、です。

情報が断片的になる原因は、『魂』という視点を
持つて語っている人がいない、ということです。

人間は、心と身体と魂という3種類の器を持った存在です。

既存のものでは、『魂』という視点がまったく抜け落ちているか、
『魂』の定義を間違っていて、『心』と『魂』が明確に区別できてい
ない、という問題があります。

だから誤解を生むのです。

要するに、世の中には、心と魂の階層の違いを、
明確に説明できている人が、ほぼいないのです。

心、身体、魂を書き換えるのが自己変革

自己変革する、ということは、
自分の存在の情報を書き換える、 ということです。

魂の視点がない、ということは、
心と身体からのアプローチしかできていない、 ということです。

酷いものでは、心しか扱っていないものもあります。

僕が開発した【サトリ式】のコーチングでは、

心と身体と魂の『定義』をはっきりさせた上で、
それぞれからの柔軟なアプローチを駆使して、

自己変革や現実の変化を起こしていきます。

たとえば、既存の自己変革メソッドでは、

『あなたの夢を自由に思い描いてみましょう』
『未来のゴール設定をしましょう』

というところからスタートしますが、ここで、

『過去から現状の延長でしかないゴールしか出てこない』

という問題への対処が明確になっていません。

イメージしましょう、というところからスタートするけど、

今の自分にイメージできることが、すでに、

『縛られて』いることを考慮していないか、無視しています。

心は魂の支配を受ける

【サトリ式】の理論の中では、魂とは『関わり』と定義します。

僕らの心は、僕らが今、そしてこれまでに関わってきたものごとの『関係性』によって縛られています。

会社員しかやってこなかったような人が、
会社員の世界を飛び越えたゴールを、臨場感を
持ってしっかりとイメージすることはできません。

『思考』とか『自由意志』というものの限界を知るのが重要です。
知るだけでなく、対処法を身につける必要があるのです。

コーチングにおいて、【ゴール設定】も大事ですが、
セルフイメージや現実を実際に変えていくためには、

日常的に『アファメーション』をすることが重要です。

僕も正しいアファメーションを実践するようになってから、
自分の望むことをどんどん実現できるようになりました。

会社を辞めて独立して好きなことができる状況を実現させたのも、アファメーションの成果だし、

メンターとなる人との重要な出会いも、アファメーションで引き寄せました。

実は今の奥さんと付き合いだしたのもアファメーションの成果です。

アファメーション？ もうすでにやっていますよ

実際に、僕のコーチングのクライアントにもこういう方がいました。

でも、話を聞くとどうも、僕の頭の中にある『アファメーション』という言葉の定義と、その方の認識にはズレがありました。

その方は他の既存のコーチングメソッドを勉強したり、僕以外の他の方のコーチングを過去に受けていたようでした。

まず認識のズレを丁寧に説明した上で僕の中でのアファメーションがどういうレベルのものなのかを解説し、さらに、

僕が実際にどういう精度で自分のゴールを日常的なアファメーションにまで落とし込んで日々実践しているのかを具体的に説明すると、

『、、、これをやったら人生が変わらないワケがありませんね、、』

と、まるでとんでもない秘密を聞かされたような様子でした。

ちなみに、その方は、後日、自分の書籍を出版して、著者としてデビューし、ビジネスも好調に展開しておられます。

アファメーション一つをとってみても、僕の中の『基準』と他の多くの人の中の『基準』は大きく違います。

少なくとも、僕と同じレベルで、短期間で自分の人生に望む通りの変化を起こしている人でなければ、

僕の設定している『当たり前の基準』はわからないと思います。

多くの人は、アファメーションというと、『言語』を使ったものしかやらないのです。

しかもその精度も低いです。

魔法の呪文のように唱えるだけでOK、みたいに思っている人もいます。

昔の僕がそんな感じでした（笑）

唱えているうちに潜在意識に刷り込まれるので、願いが宇宙（潜在意識）に届く、みたいな理解ですね。

冷静に考えれば、こんなことで願いが叶うのなら、世の中、とんでもない混乱が起こってるはずですね。

神さまは人間の言語を理解しない

完全に間違いではないのですが、アファメーションというものが秘めている効果の全体から考えたら、ほんの1割にも満たないです。

アファメーションに込められるのは、
『メッセージ』であって『言語』ではないのです。

そもそも、神さまも宇宙の法則も、潜在意識も、

その他、名前はなんでもいいのですが、あなたの願いを叶えてくれる『ナニモノ』かは、僕らが使っている
『言語』や『言葉』をそのままでは理解してくれません。

コンピューターに命令を出すときに、
プログラム言語が必要なように、

神さまや宇宙や潜在意識に指令を出すのも、
『特別な言語』が必要になってきます。

それが『行為』や『在り方』というメッセージです。

日々の行動そのものがメッセージであり、

僕らが習慣的にとっている行動こそがもつとも
強力なメッセージになっている、ということです。

考えてもみてください。

『私は時間を守る人間です』

というアファメーションを言葉で毎日つぶやきながら、夜更かしして寝坊ばかりする生活習慣の人と、

スケジュール管理を工夫したり、目覚まし時計をセットして、高い自己管理意識を持って日々を送る習慣があって、

『必ず時間に間に合わせる』

『人を待たせることをしない』

という意識レベルの行動をしている人間と、どちらが本当の『**時間を守る人**』でしょうか？？

神さまじゃなくてもわかりますよね？

本当に効果のあるアファメーションとは、
『**非言語のアファメーション**』なのです。

思考と言葉と行動はエネルギーのレベルが違うだけで、本質的には同じものなのです。

ここが理解できてから、僕は短期間で理想の自分に変わり、短期間で望む現実を引き寄せる、ということが容易にできるようになりました。

さらに効果的なテクニックがあるんです

この『非言語アファメーション』というのも、僕自身が実践してきて、自分の現実を望む通りに変えるのに、かなり強力な効果を発揮してきたテクニックなんですが、

実は、さらにもっとお手軽で効果的なテクニックがあります。

それが『モデリングアファメーション』です。

身につけたいスキル、
手に入れたい現実があるとき、

それをすでに実現している人をモデルにして、
その人の『人格そのもの』を自分の意識内にインストールする、

というテクニックです。

僕は、自己変革メソッドでは定番の『モデリング』というものに關しても、自分なりにかなりマニアックに研究してきたんですが、

自己啓発的なことだけじゃなく、実践心理学、認知科学、潜在意識、脳神経科学、仏教の縁起思想、空の概念、催眠、洗脳、気功、そして人工知能の深層学習（ディープラーニング）などなど、

興味のあることを深掘りして探究していった結果、
それらの知識が統合されて、超強力なテクニックが生まれました。

この『モデリングアファメーション』を駆使して僕は、

たったの1年で収入を10倍にしたり、
たったの1ヶ月で彼女をつくったり、

理想的な女性と出会って幸せな結婚生活を送る、

みたいなことを実現してきました。

また、普段の日常生活において、

『好きな人だけと関わる』

『肉体年齢が実年齢よりも15歳以上若い』

という生き方を実現しているのも『モデリングアファメーション』や、その他のテクニックを組み合わせて効果的に使っているから、です。

そして、さらに改良した、

『ハイヤーセルフアファメーション』みたいなものもあります。

名前だけ見ると、どんどん怪しくなっていきますが(笑)、効果効能とお手軽さはどんどん高くなっています。

気功やエネルギーワーク的なものも、一通り理解しているので、サイキックな能力開発や、新しい技術の開発も、どんどん生み出していけるんです。いろいろな場面で応用してます。

欧米由来のものは日本人には**合いにくい**

セルフコーチングや自己変革のメソッドの大部分は、
欧米由来のものが主流です。

僕も一通り学んでみたんですが、
日本人の気質には合わないものが多いと感じます。

世界の人々の中でも日本人の気質は独特です。

日本人の精神性は、古神道的な神話の世界観、
八百万の神々を信仰し、和の精神がありながら、

仏教的な縁起の思想、禪の精神などが絶妙にブレンドされています。

欧米由来のものは、ユダヤ、プロテスタントの一神教的な思想背景を持つものが多く、神の創造物としての特権を与えられた、

『人間中心』の個人主義思想が土台になっています。

要するに、人の『意志の力』というものを過信し、
依存してしまっているものが多いということです。

自己啓発セミナーに行っても、コーチングを受けても、
その時だけは盛り上がるものの、すぐにエネルギーが切れてしまう、
ということです。力技的なものなので長続きしないんですね。

欧米由来のメインストリームの自己変革メソッドでは、
サトリ式で中心に据えているような、
『魂』とか『縁起』という概念が弱いのです。

これは、仏教や古神道的な思想の背景がないと、
理解しづらいものなのかもしれません。

GoogleやFacebookなど、シリコンバレーを代表する
IT企業では、社内研修で禅の瞑想が採用されています。

Appleの創業者である故スティーブ・ジョブス氏が京都まで
わざわざ通って、禅や瞑想を学んでいたことも、一部では
有名な話です。

なぜ、彼らは自分たちの生まれ育った環境である、
ユダヤやプロテstant背景のメソッドではなく、
禅や仏教の思想背景を持ったものを学ぶのでしょうか？

その『答え』は、『ネットワーク』という言葉に集約されます。

すべてはネットワークで説明がつく

サトリ式で『魂』を『関わり：関係性』と定義しているのも、
僕が『縁起』という概念を中心に考えるのも意味があるのです。

僕らの脳内のシナプス構造はネットワーク状になっています。
インターネット自体もネットワーク構造を持っています。

人と人のつながりもネットワークです。

上述したGoogleという企業において、チーフ・エヴァンジェリストとして強い影響力を持つゴーピ・カライル氏は『インナーネット』というものの重要性を強調しています。

テクノロジーの進歩によって、直接的につながることになった、
僕らの脳と身体、心、呼吸、意識の集合体としての、
ネットワーク構造、それが『インナーネット』です。

ネットワーク科学は、現代においてもっとも重要な研究分野の一つです。ネットワークというものは工学、生物学、人類学、社会学、経済学など、ありとあらゆる分野に幅広く顕われます。

欧米の科学者たちにとっては、近年になって注目が集まってきたことなのかもしれません、仏教では2600年前に、すでにお釈迦さまによって『縁起』という概念が提唱されていました。

サトリ式のコーチングでは、『自分』という存在を、
ネットワークの中の一点としてとらえます。

僕らが認識する『私：自分』という存在は、自分以外のものとつながり、そのネットワークの中で絶えず影響を受ける存在です。

『私：自分』は世界から孤立して存在することができません。

ネットワーク構造の中の一点である限り、
『環境の力』や『背景の力』こそが『私：自分』というものを
成り立たせるのに、とても重要な役割を果たすことになります。

欧米由来のものは、一神教的な世界観のもとで、
宇宙の中に特別な存在として生み出された『個』の力を
過信するので、『つながり』を無視したり、軽視して、

無理矢理に自分を鼓舞して変わろうとするメソッドが中心です。

だから、メンタルマッチョな人しか変われないんです。

欧米的なメソッドに感化された人って、
日本人的には、不自然なポジティブさを身にまとっていて、

ちょっと気持ち悪く感じたりしませんか？

その感覚は、日本的な背景を持つ人にとっては、
とても自然なことなのでご安心ください。

自然を支配しようとするのが西洋思想

西洋思想は、基本的に、このように人間や『私』というものを、
宇宙の中で唯一、神に選ばれた特権的な存在だ、と考える傾向がある
ので、西洋の文明は自然と融和するのではなく、

自然を支配し、コントロールしようという方向で発展してきました。

自己変革メソッドにおいても同様です。

本当は、宇宙や自然に与えられた『借り物』の存在である、
『私：自分』という器を、自分の意志に従わせ、
コントロールしよう、という思想です。

これは、平均的な日本人の気質にはマッチしません。
普通の人であれば、途中で疲れて折れてしまうことが多いです。

余談ですが、僕の場合は、『引き寄せの法則』との出会いが、
自己の本質と向き合うきっかけになり、それが『意識の覚醒』
の最初の引き金になりましたが、

欧米では、上述したようなメンタルマッチョなやり方で、
社会的にある程度の成功を収めた後に、心が折れてしまって、
大きな挫折を経験し、そのショックで覚醒する、
というパターンが多いようです。

欧米人にとっても、あまり『優しくない』
自己変革のやり方だということですね。

確かに、ある程度の成功（何をもって成功と定義するのか、ですが、
ここでは金銭的、社会的な成功という意味です）を収めることは
可能ですが、

その後の、『心が折れて大きな挫折』という部分の落差が激しいの
で『意識の覚醒』にたどり着けず、そのまま挫折して生きることになつたり、ひどい場合には、自ら命を絶つてしまつたりもします。

自己変革の最大の敵、ホメオスタシス

サトリ式では、『つながり』の力、ネットワークの力を、最大限に生かす、ということを中心に考えていきます。

だから、変化に対して無用な抵抗が起こりにくいのです。

それが、『ホメオスタシスを味方につける』ということにもつながっていきます。

コーチングの理論を少しでもかじったことのある方であれば、聞いたことのある言葉だと思います、

コンフォートゾーン（快適ゾーン）や
ホメオスタシス（恒常性）というものがあります。

ですがこれほど、知識としては知られていても、実際に対応できる人の少ないものは、他にないかもしれません。

意識の中に【理想のゴール】として思い描いた『未来のあなた』と

本音では変わりたくない、変化を嫌う『過去のあなた』とが、

ぶつかり合ったときに勝利するのは、ほとんどの場合、変わりたくない『過去のあなた』の方です。

コーチングの理論や自己変革のメソッドを使って、
もっと理想の人生を生きたい、と変化を望んでいるはずなのに、

潜在意識レベルでは変化を恐れ、変化に抵抗する、もう一人のあなたがいて、変わろうとするあなたの足を引っ張ります。

【コーチング理論】の実践において最も重要なのは、

『**ゴール側の臨場感**』を高くして、
『**過去側の臨場感**』よりも大きくすること、です。

ですがこれは、『**意志の力**』では実現できません。

人の意志は心より発します。
でも、心は身体や**【魂】**に支配されています。

【**魂のプログラム**】を書き換えることなしに、
あなたは同じ意志を持ち続けることはできません。

自己変革やコーチングにおける失敗とは、
意志の力を過信すること、に起因することがほとんどです。

世の中のほとんどの人が、欧米化、西洋文明化された
現代においては、大多数の日本人ですら、
『**意志の力**』というものを過信してしまっているんです。

弱さを前提として構築するのがサトリ式

サトリ式のコーチング理論、自己変革のメソッドは、
基本、人の心の構造的な『弱さ』を前提にして構築しています。

意志の強さに依存する、つまり結局は『精神論』になってしまうの
なら、時代遅れだし、オカルト信仰と変わりがありません。

人は関わる人やものごと、身を置いている環境や状況、
そういった【情報場】から影響を受ける生き物です。

たとえば、クラスメイトの9割にとって、『当たり前』なことは、
努力しなくとも『当たり前』になってしまふ、ということです。

つまり、『ゴール側の臨場感』と『過去側の臨場感』の
勢力争いは、自分がどういう環境【情報場】に身を置いているか、

で、**ほぼ100%決まってくる**、ということです。

どんなに素晴らしいコーチをつけていても、
月に1回、そのコーチと会う時間以外の他の生活時間を、

ずっと『過去側の臨場感』がある【情報場】で過ごしていれば、
その人は『自己変革』することに失敗します。

人は、理論や知識だけで自己変革できるワケではありません。

たとえば、コーチングでは『**ゴール設定**』が大事だと言われます。

また、自分が設定したゴールの臨場感を高めるため、毎日『**アファメーション**』しましょう、とも言われます。

ですが、多くの人は、そういった知識を得ても、

自分の中の『**当たり前の基準**』が、『**過去側の臨場感**』に合わせた形でセットされています。

成功者、実際に望む人生を生きられる、コーチング理論を体現して生きているような人が、どういうレベルで

『**ゴール設定**』して、どういう精度の『**アファメーション**』を実践しているのかを知らないまま、

自分の感覚（＝**過去側の臨場感**）で、ゴールを設定し、アファメーションをしてしまいます。

なんとなく、ぼんやりと未来の目標を考えて、それで『**ゴールを設定できた**』と思ってしまうし、

ただ呪文のように呟くだけで『**アファメーションをやっている**』と思い込んでしまいます。

そしてもちろん、効果はほとんど感じられないでしょう。

ゴール側の視界を手に入れることがすべて

そもそも、【ゴール】とは理想の未来であり、
今現在、まだ実現していないことです。

まだ実現していない、手に入っていないことに対して、
『臨場感を持つ』ために、いきなりイメージの力に頼っても、
うまくいかないのは当たり前です。

人は、自分の経験ないこと、記憶の情報の中に入っていないものを、イメージすることも感じることもできません。

これも意志の力というものを過信している人が、
よく陥るワナだと言えます。

僕も、昔はそういうワナにハマってしまっていましたが、
あるときから、うまく脱する術を理解して実践しました。

それは、『ゴール側の視界』を手に入れること、です。

臨場感とは、要は脳内リソースを占める情報のシェアです。

過去の側のものと触れる時間が長いと、
あなたが望む変革が成功することはありません。

未来の側、ゴール側の情報に触れる時間をいかに長くしていくか、
そして日常の『習慣』を書き換えることが重要なのです。

自分の目指しているゴールに近い臨場感空間に生きている人を見つけて、その人と関係を構築することで、自分の中に、

『ゴール側の臨場感』をインストールすることができます。

あなたの意識の中に、ゴール側の人の
『人格をインストール』するということです。

そうやってゴール側にいる人の人格がインストールされると、自分の視界が変わります。

『ゴール側の視界』が手に入るのです。

たとえば、2015年の暮れに、僕は、2日間で150万円という高額のセミナー＆ワークショップに参加しました。



コーチングの始祖、**ルー・タイス**氏に師事していた、自身もオリンピックコーチとして輝かしい実績を持つ、

マーク・シューベルト氏によるコーチングブートキャンプです。

マーク・シューベルト氏は、これまでに26人のオリンピック選手を育成し、金メダルの獲得が29個、世界新記録が50個、全米新記録に至っては300個を達成させた実績を持っています。

2008年の北京オリンピックで、前人未到の8冠王（一回のオリンピックで金メダルを8個獲得）となった、『水の怪物』こと**マイケル・フェルプス**も、彼の指導を受けています。

僕が、高額の参加費を支払ってまで彼に会いに行って、直接の指導を受け、公開セッションを見学したのは、

自分の中に、『世界最高峰のコーチの視界』をインストールするため、です。

自己啓発書でよく言われるような『成功者に会いに行きましょう』というぼんやりした動機ではなく、

僕が彼に会いに行ったのは100%、彼の人格をインストールし、『世界最高峰のコーチの視界』をインストールする、ということを最初から目的として明確に意図していました。

ここでも、前述した『モデリングアファメーション』のテクニックを活用しています。

実際、セミナー内で彼が詳細に語ってくれた、北京オリンピックでの8冠を成し遂げた経緯をその場で聴くだけで、

【世界最高の仕事をするコーチ】が、クライアントに対して、どういうスタンス、姿勢で接して、コーチングを行うのか？

という『言葉だけでは伝わらない、高次元の情報』が、自分の中にインストールされたのを感じました。

同じ会場に、他にも彼の話を聴きに来た人もたくさんいましたが僕ほども効率的に『情報をインプット』した人はいないでしょう。

また、公開セッションにおいても【世界最高の仕事をするコーチ】が、初対面の人間に、いかにアプローチしてコーチングするのか、という情報を、【場の共有】によって直接インストールしました。

こうして、僕は少ないチャンス、機会を最大限に活用して、効率的に『世界最高峰のコーチの視界』を手に入れることに成功したのです。

この後、僕は自分でもパーソナルコーチングとしての活動を始めましたが、高額のフィーを設定していたのにも関わらず、クライアントが集まり、そして彼らの【ゴールの実現】にしっかりと貢献することができました。

また、翌年の2016年には、また別の【世界最高峰のコーチ】として活躍する人間から半年以上かけてコーチングを学びました。

恐らく、現存する全人類の中でも、トップクラスの頭脳を持ち、日本人で唯一の上級騎士の叙勲を受けていたり、某国の中銀の総裁に、金融や経済政策のレクチャーをするような人物です。

そういう人物と、同じ時間と空間を過ごし、
【場を共有】することで、自分の中に、

『世界最高峰のレベルの人間』の視界がインストールされます。



※『世界最高峰のレベルのコーチング』を学んだ修了証

そういった視界を手に入れて、また、自身でコーチとしての活動をしながら、僕は自分の独自のメソッドを完成させていきました。

情報場という視点

先ほどから度々、【情報場】という言葉が出てきました。

言葉の意味の理解が曖昧な方もいると思うので、補足的に解説します。

縁起というネットワーク構造の中の一点が『私：自分』です。

縁起（サトリ式の定義では『魂』とも言う）自体が、

『誰その息子で、○○の仕事をしている』

というように、自分と関わっている人や物事との関係性を表している『情報』です。

仏教思想の『縁起』という言葉は、『私：自分』が漂っている、無限に広がる『情報の海』だというイメージです。

つまり、『私：自分』は常に、何かしらの【情報場】というエネルギーフィールド（力場）に身を置いて存在しています。

エネルギーという言葉も、物理学的な意味で解釈してください。

エネルギーというのも『情報』の一つの形です。

このように、サトリ式では **【情報場】** という抽象度で、自分が身を置いている環境や状況を理解していきます。

物理空間で肉体的に身を置いている場所（環境）というのも、一つの **【情報場】** ですし、人間関係や何の仕事に関わっているのか、というのも、遅刻しそうで焦っている、とか、セミナー会場で登壇して緊張している、という状態や状況も **【情報場】** です。

そういう観点で自分の生きる日常の世界を再構築し、
【場】 というものの感覚を磨くことで、いろいろと
『おもしろいこと』が実現できるようになっていきます。

パワースポットを自由自在に**創る**

【情報場】 という概念を理解して、そこに直接的に、
『アファメーション』的な情報を書き込むことで、

パワースポットやパワーアイテムを自由に創れるようになります。

たとえば、僕がパソコンに向かって仕事をする
自宅の執務室は今、完全にパワースポット化しています。

この部屋で愛用のiMacの前に座って、自分の意識の中に降りてくるものを言葉にして綴れば、

数百万～数千万円もの売上が上がるビジネスが生み出されます。

パソコンでタイピングするときに、必ず右手の人差し指に
ついている、ファイアオパールのリングも、バリ島で作ってきて、
その後『アファメーション』を施してパワーアイテム化しました。



※自分の潜在力を發揮させるパワーリング

僕は東京港区の自宅以外に、神戸にもオフィスを持っているのですが、そこには自分のポテンシャルを解放し、最大のパフォーマンスを発揮している状態をイメージ化してもらった絵を飾っています。



※神戸のオフィスをパワースポット化する絵画

このオフィスで、コンサルティングやコーチングのセッションをすると、必ず、人生で重要な変化の種となるような、
『意識のシフト』を経験する人が現れます。

文字通り、人生を変えるような、運命を書き換えるような場所がそこに出現するのです。これを自分で意図的に生み出しています。

ここまでくると、怪しさを感じるような話も出てきますね。

でも、ここに語っていることはすべて僕の人生の中に起こってきたリアルな現実、事実の中から、

『これは自信を持って語っても大丈夫』

と思えることだけを厳選して語っているに過ぎないのです。

もし、あなたがこの先、どこかで僕に直接会いにきてくれる機会があれば、もっと『怪しく』『非現実的に感じる』ようなエピソードもたくさん紹介できます（笑）。

本当は一部の人にはこっそり伝えるつもりでした

こういう、一見『怪しい』とも思われるような、魔法のような結果を生み出せるメソッドなので、最初は、僕のパーソナルコーチングを受けにきた人だけに、こっそり教えようと考えていました。

このレターの最後で紹介する『特別なプログラム』は、
僕の対面のコーチングを受けた人だけに、理論部分の解説をして、
理解を深めてもらう、という目的で準備したものだったんです。

パーソナルコーチングを受けた方たちは、プログラム内で
語っているようなテクニックを身につけて、どんどん自分で
自分の生き方、セルフイメージを変えられるようになります。

会社員を辞めて独立したり、出版して著者になったり、
自分のビジネスで大きな結果を出したり、
通常ではあり得ないような人脈を次々に開拓したり、

いろいろな分野で活躍しながら、とても幸せそうに、
『自己の本質と一致した人生』を送るようになりました。

でも、あるとき、僕のもう一つのライフワークである、
『ビジネスを教える』という活動の中で勉強会をやったとき、
気づかされることがあったんです。

そこには、コーチング業界や、自己啓発業界、スピリチュアル業界
などでそれぞれ活動している方たちが参加していました。

彼らの話を聞いてみると、それらの業界の中で、
現状としてどういうノウハウが流通し、どういうことが
起こっているのか、が観えてきたんです。

どうも、人を惑わせるような『断片的』な情報ばかりが出回り、
悩んだり苦しんだりする人を増やしてしまっているようです。

ビジネスの論理の犠牲者になる人が多い

そういった『断片的』な、不完全な情報はどれも、販売している人が、自分の人生の中で実践して、

実際に効果があることを実証したものではなく、
(つまり、科学的な検証がなく、再現性がない)

資格ビジネス的なライセンス制度のセオリーに則って、

『コーチング』や『セッション』や『講座』という
『商品』を売ることが目的となってしまって、

それらを受けた人の自己変革や、人生を変えることが、二の次になってしまっている状況がある、と感じました。

そこで初めて、僕の中にも新たな『問題意識』が生まれたのです。

このままじゃいけない。

この現状を知ってこのまま放置してしまうのは『誠実』ではない。

今の僕にも、もっとできることがあるんじゃないかな？

そういう想いが自分の中にムクムクと持ち上がってくるのを感じました。

僕はかつて抱いていた志を思い出したのです

僕は前職、会社員時代は教育業界に身を置いていました。

個別指導学習塾の、教室長という仕事をしながら、日々、子どもたちと関わって毎日を送っていました。

このレターの冒頭で語った、自己啓発書やビジネス書を読んで、社会人スキルを磨いていくことに、純粹にエネルギーを注いで、

それが自分の人生を変えることにつながるに違いない、という、純粹な『希望』を失わずに生きていた頃のことです。

社会人スキルを磨きながらも、自分の勤める本業の教育現場で、

子どもたちと関わることが、
その子たちの未来に関わることでもあり、

それがこの国の未来に関わることだと信じて、自分は、この仕事を通して、世界をよくすることに貢献しながら生きているんだ、

という感覚を持っていて、それなりに幸せに生きていました。

ですが、自分自身の見識を広げていく中で、世の中のことを知り、教育業界やシステムの事情、この国に置かれた現状を知るにつれ、

いつしか『絶望』を感じるようになっていきました。

そして僕は、

『この国の教育システムの内側にいるままじゃ、
自分には何も変えていくことはできない。

何よりも、子どもたちを変えるためには、

子どもたちが憧れるような、自己の本質と一致した、
幸せな生き方をする大人をもっと増やさないといけない。

それ以前に、僕自身がもっと、子どもたちに憧れられる
ような、魅力的な生き方をする大人にならないといけない』

と感じて、会社員以外の場所で、自分の潜在能力を
生かせるような場所はないか？と模索し始めたのです。

そして、スムーズな道筋ではありませんでしたが、僕は会社から
独立して、その後、望んでいたことをどんどんと実現してきました。

今の僕を、昔の、子どもの頃の僕が見たなら、

憧れ、未来に対して希望を持てるような、
そんな自分になることができたかな、と感じられるところまで、

長い旅路を経て、ようやくたどり着けた、と思っています。

ここで満足してちゃダメなんだ

でも、こうして小さな満足感に浸っている場合じゃないんだ、
ということをクライアントの方たちから気づかせてもらいました。

世の中に、子どもたちが憧れるような、
魅力的な生き方をする大人を、

もっともっと増やさなきゃならない。

僕はそのために一人、まだ『何者でもなかった』ところから、
今の僕に続いてくる『長い旅路』へと歩み出したんじゃないかな。

今、この国を生きる子どもたち、

僕という人間を生み、育んでくれたこの日本という
素晴らしい国の中で生きて育っていく子どもたちが、

周りの大人たちを見回したときに、
『失望』するんじやなくて、

どこを見ても、自己の本質に一致して、
子どもの頃の純粋な好奇心を解放しながら、

好きなことをやって、望む通りの人生を歩んでいるような、
そういう大人ばかりの世界にすること。

それが、旅路へと歩みだした頃に、僕が心に抱いていた
ゴールだったんだ、ということを思い出しました。

そういう魅力的な大人が増えることで、
子どもたちの未来は必ず明るくなるし、

この国も、もっともっと素晴らしい場所になる、と信じています。

僕は**仲間**を増やすことにしました

このレターの冒頭には、僕が好きなヴィクトール・フランクルの
言葉を引用しています。

ユダヤ人心理学者の彼は、第二次世界大戦中、ナチスの収容所に
監禁され、筆舌にも尽くしがたい、屈辱的で生命の危機に晒される
ような、劣悪な環境と状況を経験させられました。

その経験の中、彼の意識はシフトし、

僕らの人生に起こることの意味は、
外に求めるようなことではなく、

自らの『内』にあることなんだ、ということを、
今の世に伝えてくれる、という役割：機能を果たしました。

人生の意味がなんであるか？
あなたにはその『答え』を自分で決める権利があるんです。

僕は、『子どもから見て魅力的に見える大人』とは、

自分の人生で『問題』に出会ったときに、
自分で『答え』を出して前に進むことができる人、

だと思っています。

そういう大人を増やしていきたい、という願いを込めて、
このプログラムを【The Answer】と名づけました。

僕はあなたに、あなたの人生の意味を、
自分で自由に決められる人になってほしい、と願っているんです。

このプログラムで、僕と一緒に学び、理解を深めていくのは、
35歳で『意識の覚醒』を経験する前の僕自身が、

まだ『何者でもなかった』ところから、恐る恐る
最初の一歩を踏み出し、自分の人生の中で、過去の僕から見たら
『英雄』に感じられるようなセルフイメージに進化していった、

その『長い旅路』の中で受け取ることのできた、
『自分の人生から与えられたギフト』と呼べる叡智です。

あなたも、僕と一緒に、『名もなき英雄』としての
旅路をスタートさせませんか？

そしてぜひ、魅力的な大人を増やす『仲間』になってください。

<【サトリ式】オンラインコーチングプログラム>

【The Answer】

～名もなき英雄の旅路 Nameless Hero's Journey～

【カリキュラム】

＜基本課程＞

- 1ヶ月目 【創造者のパワーを呼び覚ます『ゴール設定』】
- 2ヶ月目 【魔法の呪文 アファメーション】
- 3ヶ月目 【ホメオスタシスを味方につける】

＜実践課程＞

- 4ヶ月目 【『縁起』をデザインする】
- 5ヶ月目 【脳内に『英雄』を宿らせる】
- 6ヶ月目 【コンフォートゾーンを広げる】

＜応用課程＞

- 7ヶ月目 【神の力を呼び覚ます瞑想法】
- 8ヶ月目 【パワースポット・パワーアイテムを創る】
- 9ヶ月目 【人生の登場人物を自分で決める】

＜進化課程＞

- 10ヶ月目 【『ゴール』にエネルギーを与える】
- 11ヶ月目 【情報空間・ネット空間・物理空間の書き換え】
- 12ヶ月目 【日々、進化し続けるためのマインドセット】

<基本課程>

【1ヶ月目】 創造者のパワーを呼び覚ます『ゴール設定』

サトリ式コーチングプログラムの初月で、徹底的に学習するのは、
【ゴール設定】です。

そもそも、セルフコーチングや種々の自己実現、自己啓発メソッドにおいて飽きられるほどに語られているのに、実際に、適切に身につけられている人が少ないので、【ゴール設定】です。

【ゴール設定】という言葉を使うと、ほとんどの人は、
『もうすでに知ってるよ』と考えてしまいますが、
それが大きなワナなんです。

サトリ式の一つの大きなテーマが『無意識の意識化』です。

『なんだか聞いたことがある』
『これはもう知っている』

と思うところにこそ、【認識の盲点：スコトーマ】があって、
その盲点があなたの自己成長や進化を阻む障壁になります。

まず、最初にどういうレベルのゴール設定をすべきなのか、
という土台の部分を固めます。

また、初月で学ぶゴール設定が次月以降の、アファメーションや
ホメオスタシスへの対策での効果につながっていきます。

具体的には、以下のようなことを学んでいきます。

●すべての人がゴールの奴隸として生きている証拠

ゴールは『持っている』『持っていない』という話ではなく、すべての人が意識の中に『予感』としてのゴールを持っています。その前提を共有しないと、何も話は始まらないのです。

●顕在意識の主導から潜在意識への主導へのスイッチ

よく言われることですが、顕在意識と潜在意識の処理能力の差は10万倍以上あります。あなたがもし『意志の力』だけで変わろうとすれば、10万分の1以下の効率性で無謀な戦いを強いられることになります。

●どうすれば潜在意識に『届く』のか？

潜在意識に願いや望みを届けることを、単なる『神頼み』と区別できない人があまりにも多すぎます。再現性を生むためには、明確に判断できる指針が必要です。

●自分自身への信頼を生み出す方法

『自信がある』という人は、一体何を信じているのでしょうか？

ゴールが実現されているわけでもないのに、根拠もなく自信を持てる人の心の中がどうなっているのかを解説します。

●長期的なゴールはどこまで考えたらいい？

成功している人や偉人は、人生の中のどの時点でどの程度までのゴールを想定していたのでしょうか？僕はいつもそういうことばかり考えて探究していました。僕の中でたどり着いた一つの結論を語ります。

●決めるということは何かを捨てること

ゴールを決めることで、他の可能性を捨てることにもつながります。でも、人生の中でゴールは何度でも再設定できます。それ以前に、まず、『決める』ということをしないと人の意識はそれについて考え始めません。

●『ビジョンボード』はなぜ効果があるのか？

引き寄せの法則などで有名になった『ビジョンボード』。やってみて効果を感じられた人もいれば、そうでない人もいると思います。どういうメカニズムが働いて、ビジョンボードに書いたものが引き寄せられるのかを理解すれば、効果的に使いこなすことができます。

●あなたの『魂』に情報というエサを与える

『魂』とはあなたという存在の情報の総体です。あなたの魂にエサを与えて成長させていけば、あなたという存在はどんどん大きくなっています。

●自分の未来からエネルギーを受け取る方法

『未来』とは無限の可能性の雲の中にはあります。つまり『未来』は無限のエネルギーを秘めているのです。適切なゴール設定ができたとき、あなたはいつでも『未来』からエネルギーを受け取り、尽きないモチベーションを手に入れることができます。

●ゴールと時間軸の関係性

多くの人は、今後1年でできることを過大評価し、5年でできることを過小評価します。それは『戦略がない』からです。戦略とは資源の分配の指針。まず、直近の1年で資源を増やすことに集中すれば、その後の4年でできることを大きくふくらませることができます。

●多くの人が捕まる『人生の踊り場』とは？

過去に満たされなかつた欲求や煩惱は、あなたの中にカルマとして残ります。カルマとの付き合いに慣れていないと大きな落とし穴にハマることが多いです。なぜ、成功した後につまらないことで身を崩す人が多いのか？なぜ、外務省のエリート官僚はハニートラップにハマりやすいのか？カルマのことを理解すれば、すっきりと腑に落ち、対策を立てて動くことができます。

●『自分の憲法』の正しい設定方法

『7つの習慣』で有名な『自分の憲法』も、多くの人は設定の仕方を間違っています。『自分の憲法』は、情報的な身体としての『ハイヤーセルフ』をデザインすること、です。設定する上での注意点を解説します。

●ゴールができた人は外からどう見えるのか？

ゴールができた人は、外から見るとどういう変化を遂げるのか？それがわかっていていれば、他人を見て、相手のゴールをリーディングする（読み取る）ことができるようになります。

● ゴールのメンテナンスは、どういうタイミングでどうやればいいのか？

戦略から戦術へ、抽象と具体的な段階を行き来すること。ゴールを設定すればそれだけで終わり、ではなく、どうやって戦略的にゴールの実現へと突き進むのか？この部分の精度で、受け取る現実の大きさが変わります。

【2ヶ月目】 魔法の呪文 アファメーション

2ヶ月目には『アファメーション』というテーマに進みます。

ここも、多くの人にとって『誤解』が大きな部分です。

適切に設定したゴールを、一つひとつ実現に近づけていくための橋渡しをするのが『アファメーション』であり、

コーチング理論を体現して生きる人にとって、日常で一番、関わる時間の長いのが『アファメーション』という行為です。

この部分に関しても、既存のコーチングメソッドや、自己変革、自己啓発メソッドで語られていないことを解説していきます。

具体的には、以下のようなことを学んでいきます。

● アファメーションと引き寄せの法則の関係

有名なThe Secretで語られている『引き寄せの法則』とはアファメーションのことです。適切に使いこなせば、アファメーションは望んでいることを自由自在に引き寄せる、魔法のような効果を生み出せます。

● アファメーションは何を引き寄せるために使うのか？

既存のアファメーションを教えている教材や書籍は、根本から間違っているものが多いです。アファメーションとは、そもそも何を引き寄せるために使うものなのか？を正しく理解することがスタートになります。

●セルフイメージの概念、定義を書き換える

僕が使うセルフイメージという言葉は、一般で使われている言葉と意味合いが違います。ワンネス、ノンデュアリティ（悟り：非二元）の視点でセルフイメージというものを理解すれば、仏教哲学の縁起や曼荼羅といったものに近づきます。

●アファメーションの具体的なやり方

正しい理解に沿って、ステップバイステップで、実際に効果を生むアファメーションの設定を解説していきます。

●マーク・シューベルトがオリンピック選手に指導したアファメーション

マイケル・フェルプスが北京五輪で前人未到の8冠を成し遂げたとき、指導した世界最高峰コーチのマーク・シューベルトは、どういうアファメーションテクニックを使っていたのか？世界最高レベルの結果は、いかにして現実化するのか？その裏側を解説します。

●気軽に実践できるアファメーション

コツを掴むために身近なものから引き寄せてみましょう。

●『創造の力』を使いこなすためのトレーニング法

言葉にエネルギーを封入し、『言霊』の宿るアファメーション文を作り、それを使って思い通りの現実を創っていくトレーニング法を解説します。

●アファメーションをするタイミングとメンテナンス

日常の中で、どういうタイミングでアファメーションをすればいいのか？また、どういうペースでメンテナンスしていくべきなのか？ここも、あまりわかっていない人が多いので指針を示します。

●潜在意識の特質とアファメーション、5つの原則

潜在意識の特質を考慮した上で、効果を発揮しやすいアファメーションの設定方法や、多くの人がミスしやすい注意点を具体例を交えて解説します。

●アファメーションとビジュアライゼーション

アファメーションの発展テクニックとしての、ビジュアライゼーションの正しいやり方を解説します。組み合わせることで効果が上がります。

●アファメーションはいくつ用意すればいい？

この辺りも、自分で感覚を掴みにくい部分だと思うので、指針を示します。

●非言語アファメーションという裏ワザ

言語によるアファメーションに慣れてきたら、さらに、別次元的に効果的な『非言語』によるアファメーションについて学びます。これを身につけると、現実をコントロールする力がまったく変わってきます。悪用厳禁です。

●理想のセルフイメージを宿らせる秘儀

この秘儀を使えば、アファメーションの難易度が劇的に下がります。

アプリをインストールする感覚で、自分のセルフイメージに、望む要素を新しくインストールできるようになります。僕が『お金の自由』を実現したり、『恋愛』で望む結果を出すときに使ったのもこのテクニックです。

●メタ視点で時間の超越者になる

多くの人の自己認識は、過去と現在の情報だけでできあがっています。ですが、アファメーションのトレーニングを積むことで人生を俯瞰したメタ視点を手に入れて、未来から現在や過去を見ることができるようになります。

【3ヶ月目】 ホメオスタシスを味方につける

3ヶ月目のテーマは『ホメオスタシス』。

セルフコーチングや自己変革において、もっとも強大で手強い障壁になるのが恒常性：ホメオスタシスです。

これは理想の未来においていたゴールの臨場感と、変わりたくない、という過去のパターンからくる執着の臨場感との主導権争いです。

既存のコーチングメソッドや、自己変革メソッドで、このホメオスタシスへの対策に関して、日本人の気質に合った方法で、明確に説明されているものはほぼ見たことがありません。

サトリ式コーチングでは、心は魂や身体の影響を受けて、たやすく揺れ動くもの、『意志の力』なんてものはなく、心は弱いもの、という前提ですべてのメソッドを構築しています。

敵わない戦いに挑んで、力押しで乗り越えよう、というマッチョな気質の方や、無用な痛みを経験したいというドMな気質の方以外は、サトリ式の『省エネ型』の対策法を学ぶことをオススメします。

●コンフォートゾーンとセルフイメージの関係

まずは言葉の意味する概念を正確につかむことが重要です。既存のメソッドの中での定義と、サトリ式での定義は違うことが多いので要注意です。

●変わろうとするとなぜ、抵抗が生まれるのか？

抽象度の高い視点でとらえると、すべてのことに統一的な説明ができます。変化に対する抵抗は『慣れていない』から起こることです。変化後の状態に『慣れる』と、ホメオスタシスが敵から味方に変わります。

●最初は顕在意識で、途中で潜在意識に手渡す

学習やものごとの上達のメカニズムと同じで、最初は意識的に繰り返すこと、そして習慣化によって潜在意識に手渡されセルフイメージが書き換わります。

●セルフイメージと世界の連動

仏教哲学の『曼荼羅』という概念、『一人一宇宙』という概念を理解することで、セルフイメージの意味する領域が広がります。思考の抽象度を上げることで、本質的な理解へとたどり着けます。

●ドリームキラーは自分自身

『ドリームキラー』という概念に関しても誤解が目立ちます。

これは自分自身の中から生まれてくる自分の半身のようなものです。

敵対すればエネルギーを奪われ、余計に苦しむことになります。

●科学的視点でのエネルギー・マネジメント

『気』 = 『意識』を奪われるものを身の回りから排除していきます。

● ドリームキラーは優しい顔でやってくる

多くの人が『ドリームキラー』と認識していない部分で、ドリームキラーの攻撃を受けて、自分の夢や願望を諦めています。引っかかりやすいワナについても具体例を交えて解説していきます。

● ドリームキラーに対抗するためにはゴールにエサを与えること

自己の本質、『魂』とは何でできているか？それは情報です。自分の中にどういう情報を入れるのかですべてをコントロールしマネジメントできます。

● 心、身体、魂という視点で自分を再定義する

そもそも、自分とは何か？ということを理解できていなければ、自分を望む姿に変えていくことはできません。情報面、物理面から自己の存在を再定義するために、イメージワークにも取り組んでいきます。

● 心をマネジメントする方法

心に対して、心からアプローチするのは難しいので（既存のメソッドでは、この『難しい』ことを中心にやっています）ここでは、心理学的なアプローチではなく、認知科学的、情報科学的なアプローチをとります。

● 住空間、人間関係のマネジメント

簡易的な風水や、縁起上の『穢れ』を払う発想で、自分を取り囲む環境や状況を調べていく方法を具体例を交えながら解説します。

● 幻想によって結界を張る方法

字面にすると怪しくも聞こえますが、前頭前野を活性化させ、理性の力でゴールを設定し、適切な情報のインプットによってゴールの臨場感をあげることで、身を置く環境や状況、人間関係から受ける悪影響を遮断することができます。会社員時代の僕がやったことなどもシェアしながら、その具体的な手順も解説します。

● 寿命のゴールは最低150歳以上に設定すること

僕の寿命のゴールは、以前は150歳でしたが今は300歳になっています。なぜ、そんな一般の認識からすればぶつ飛んだゴール設定ができるのか？背景にある文脈を丁寧に解説していきます。

●健康のゴールを書き換えて、パフォーマンスが発揮できる自分になる
健康という分野に関しても、多くの人にとって【認識の盲点：スコトーマ】に入りやすい部分です。『悪いところがない』ことを『健康』だと誤認識してしまうのです。でも、実際のところ健康のクオリティが低いために受けた損失は想像以上です。まずはゴールを書き換えていきましょう。

●サトリがやっている健康のための習慣の公開

僕はストレスにまみれていた会社員時代から、大きな病気をしたことになれば、見た目の年齢が若く、独立して好きなことをやりだしてから、その傾向に拍車がかかりました。肉体年齢は実年齢-20歳近く、です。僕が健康のために意識して実践していることを具体的に解説していきます。

＜実践課程＞

【4ヶ月目】 『縁起』をデザインする

4ヶ月目から、いよいよサトリ式のカラーが色濃く出てきます。僕は最初に、アメリカ発の、ユダヤを原典としてプロテスタント的な影響の強い欧米由来の自己変革メソッドを学びましたが、その実践の中で『限界』にぶつかって挫折した経験があります。

当時は自分だけかと思ってたのですが、後になって、意外と僕と同じような経緯をたどる人が多いことを知りました。

日本人の気質には、欧米由来の『マッチョ』な自己変革メソッドは合いにくい、ということです。

その後、僕は仏教哲学に興味が出て探究を始めました。同時に、スピリチュアル的な『意識の覚醒』やワンネス、ノンデュアリティ（悟り：非二元）に関する理解も進み、それらが自分の中で統合され、サトリ式コーチングの核になるような理論体系ができました。

まずは、『縁起』という概念を理解しながら、縁起のネットワーク情報を書き換え、そして魂をマネジメントする術を解説します。

具体的には以下のようなことを学んでいきます。

●『魂』という概念の『実用的』な理解

魂という言葉にもいろいろな解釈がありますが、僕の場合『関わりの情報』とか『縁起上のネットワーク構造』と理解することがブレークスルーになりました。正しい言葉の定義はともかくそう理解することで実際に『役に立つ』ということが、自分の歩みによって証明されたと思っています。

●宇宙は情報でできている

宇宙の中には物理と情報がありますが、すべての根っこには『情報』があります。物理法則という情報がなければ物質も存在できません。情報世界にあるものが、物理世界に影響すること、それが『思考の現実化』の正体です。

●『魂』とはどこに書き込まれた情報なのか？

情報処理する主体がなければ情報は意味を持ちません。魂の情報は心によって処理されます。つまり、人の心の中の情報の総体が、実用的な意味合いでの『魂』ということになります。

●魂を書き換えるためのお手軽な方法

ここが超重要な部分です。セルフイメージを書き換えるために、自己変革するため、あなたがやるべきただ一つのことは、○○○○○○○を書き換える、ということです。

●真に効果的なアファメーションとは、、、？

自己暗示や自己洗脳の手段としてアファメーションを捉える人が多いですが、それだと効果に限界があります。魂の情報を書き換える効果的なテクニックを知らないと、ムダな努力を重ねることになってしまいます。

●なぜ、どんな宗教でも道徳教育でも『徳を積め』と教えられるのか？

他人に親切にしましょう、とか、人から感謝されることをしましょう、

というのは実は、コーチング理論的に確実な効果のあることだと言えます。ただ、そのメカニズムと効果が出る原理を知らずにやると、知ってやるとでは大違います。

●潜在意識の専門家に学ぶよりも効果的なこと

潜在意識を使いこなすためには、知識や理論の理解はあまり必要ありません。人から学ばなくとも、本を数冊読めば知識的に十分です。そこからは、あることをやっていくだけで、実践ベースの学習が簡単にできます。

●サトリが急に引き寄せがうまくなったきっかけ

僕は2011年の5月頃から急に、望むことの『引き寄せ』がうまくなりました。『ある重要な事実』に気づいたことがきっかけです。それに気づいたことで、アファメーションがうまくなったのです。

●引き寄せの法則や鏡の法則がダメな理由

これらは、言つてることは間違いないものの重要な視点が欠けています。そのため、自分にフォーカスが向いてぐるぐるとスピリチュアル難民のようになってしまふ人が大量生産されます。

●サトリのアファメーションが有効な理由

既存の他のメソッドで学ぶアファメーションとサトリ式のアファメーションには重要な部分で違いがあります。ヒントは抽象度の違い、です。

●自由自在に幽体離脱する方法

これも表現が怪しいですが、これができるようになると、他人との共感能力が劇的に高まります。高い共感能力は、コミュニケーションの場で影響力を高めることにつながります。望む現実を創造するのに重要なテクニックです

●自分の脳内の制限を突破するためのお手軽ワーク

これをやることで、今まで思い描くことができなかつた大きなゴールをイメージできるようになります。大きなイメージは大きな現実を生みます。

●先に実現した方がいいゴールと、後にもいいゴール

コーチング理論を体現しながら生きていくと、人生の中でたくさんのゴールをどんどん実現していくことになります。その中でも、優先順位を上げて早

い段階で達成すべきゴールと、後にてもいいゴールをどう判断すべきか、を具体例を元に解説します。

● ゴールの達成方法が自然に觀えてくるようなゴール設定方法

ゴールは設定したけど、どうすればそれが実現されるのか見当もつかない、という人も多いと思います。実際、そういうゴールを設定しないとダメだ、という人もいます。でも、現実問題として、ゴールを設定して日々行動していく中で、自然にそのゴールの達成方法が觀えてこないと、いつまで経ってもそのゴールは実現しないし、達成にも近づきません。設定時点では達成法はわからないけど、自然に觀えてくるゴールは、どのように設定するのかを解説していきます。

● 魔法空間の活用

サトリ式のアファメーションの究極のテクニックが、ある『魔法空間』を使ってアファメーションする、ということです。僕が今、実現した過去の望み、お金の自由、人間関係の自由、自己実現の自由、幸せな結婚など、ほぼすべての領域に渡って、僕はこのアファメーションで実現しました。この数十年の間に生まれた人だけが享受できるメリットなので、確実に使いこなしてほしいと思います。

【5ヶ月目】 脳内に『英雄』を宿らせる

5ヶ月目から、サトリ式のコアテクニックである『モデリング』について扱っていきます。

『モデリング』も、いろいろな自己啓発書や自己改革メソッドで語られているテーマですが、ほとんどのものは『表面的になぞる』という程度の話で、理論体系として完成しているものには出会ったことがありません。

『モデリング』は使いこなせば、このテクニックだけでも、自分のセルフイメージを自由自在に書き換えられるし、望む結果を手に

することができる、深いテクニックです。

ここでは、『セルフイメージ』 = 『現実』（自分=世界）というノンデュアリティ（悟り：非二元）の理解が土台にあって、さらに、魂の情報（縁起や曼荼羅）の書き換え、脳科学的なミラーニューロン効果、場の理論、ホメオスタシスとコンフォートゾーンなど、

ここまでに学んできたことを総合した視点で、『モデリング』がなぜ有効に働くのか？というメカニズムを理解した上で、それを応用して使いこなすための様々なテクニックを解説していきます。

具体的には、以下のようなことを学んでいきます。

● 知識がないと意識は想像することもできない

意識や心というものを理解していれば当たり前のことなのですが、なぜか多くの人にとって盲点となりやすいのが『知識不足』という問題です。

その問題に対する唯一の、驚くほど効果的な対処法を解説します。

● 自分の世界を広げることと、ゴール設定の関係性

『自分の世界を広げよう』とか『新しいことに挑戦しよう』とか、いろいろなところで言われることですが、無秩序に世界を広げてもエネルギーは発散し、望む方向に現実を進める力は集約しません。【ゴール設定】を軸に、インプットすべき情報を選別する方法を解説します。

● 理性（顕在意識）と潜在意識のパートナーシップ

顕在意識には顕在意識の得意分野があり、潜在意識には潜在意識の得意分野があります。自分の意識を構成するこの2つの心の性格をつかんで、うまく連携して働くようにマネジメントすることが重要です。その秘訣を伝えます。

● ミラーニューロンを効率よく発火させる方法

モデリングをする上で、『真似をする』という意識がある時点で、それは

『失敗』に終わります。成功するモデリングは、思考を通らずに気づいたら相手と同じ行動をとってしまう、という状態を実現する必要があります。どうすれば思考を通さずに自然に真似てしまう状態を実現するのか？理屈がわかれれば案外シンプルなことだったりします。

●『運命の出会い』を人生に呼び込む、驚くほど再現性の高い方法

これも一つの盲点に入っていることですが、世の中で『出会い』によって自分の人生に運気を呼び込んでいる人たちが、必ずと言って実践している方法があります。聞けば当たり前の方法なのですが、意識してやっている人はほとんどいません。

●他人のモデリングを卒業する

正しい手法に沿ったモデリングに慣れてくれば、最終的には『他人のモデリングを卒業する』瞬間がやってきます。卒業した人が、次に向かうステージについて解説します。

●ゴールとエネルギーの関係性

既存のモチベーションに関する議論はすべて的外れで本質に届いていません。モチベーションマネジメントに関しては、本当は【ゴール設定】のマネジメントを身につけるだけで完結します。なぜそうなるのかを解説します。

●脳内にインストールする、とはどういうことか？

多くの人は『学ぶ』『学習する』『理解する』という言葉が意味する概念を正確に理解できません。スマホやパソコンにインストールされたアプリはいつでも何度でも使えるのと同じで、本当に『理解』すれば再現性が生まれます。では、どうやってその『理解』を生み出すのか？脳の認知の仕組みを考えながら解説していきます。

●自分の中の多重人格性を主体的に活用していく方法

人は本来的に、置かれた環境や状況によっていろいろなペルソナを使い分ける『多重人格性』をもっています。ですが、多くの人はどんな自分を出すのか自分で選べず、環境や状況に対して反応的に出力しています。こここの部分に『理性』を介入させて、意図してマネジメントする術を語ります。

●どういう人をモデリングすればどういう結果が手に入るのか？

たとえば、年収1億円を実現したければ、どういう人をモデリングすべきなのか？多くの人は、この判断の時点で誤ってしまい、モデリングしてもうまくいかない人を選んでしまいます。自分が手に入れたい結果に対して、どういう人をモデリングすべきなのか？を判断する指針を理論的に語ります。

●他人が何をモデリングしているのかを見抜く方法

これが身につければ、たとえば自分がモデルにしようと思うようなステージの高い人が、どういう意図でどういう人をモデリングしているのか？がわかるようになります。そうすると、相手の理解が深まるので人格をインストールしやすくなります。

●人格をインストールする

モデリングすることの最終目的は、その対象の人の人格をインストールすることです。自分の脳内に英雄や偉人たちの人格をインストールする、という話はナポレオン・ヒルの『思考は現実化する』でも語られていますが、実際にマスターできている人はほとんどいません。脳の認知の仕組みを考慮して、どういうことをやっていけばマスターできるのか？を解説します。

●意図的にひらめきやインスピレーション受け取る方法

脳の認知の仕組みが理解できてくると『学習のメカニズム』も理解でき、また『神の啓示』を自在に受け取れる方法も身についていきます。

●コンフォートゾーンが移行したことを判断するシンプルなサイン

自分のセルフイメージが書き換わると、コンフォートゾーンが移行し、ホメオスタシスが敵から味方に変わります。何を持ってそういう『不可逆』な変化が起こったのか？を判断するためのシンプルなサインがあります。

●メンターやモデリング対象を選ぶための指針

誰をモデルにするのか、の選択次第で、自分自身の成長や進化のスピードが大きく変わり、現実が展開するスピードも変わります。ここでは、どういう人をメンターやモデルにするのか？を判断する指針を解説します。

●未来の自分を憑依させる秘術

人間の意識は、確認できるだけでも6次元まで自由自在に移動することが

できます（『悟りの境地』に達した人はさらに次元が増えます）。

それを活用すれば、未来から自分のセルフイメージを降ろしてきて、今の自分の憑依させる、ということも可能になります。実は、モデリングを学んでトレーニングすることの究極の目的は、意識の世界での自由自在な移動力を身につけること、だったりします。サトリ式ではそこをゴールにしてモデリングを学びます。

【6ヶ月目】 コンフォートゾーンを広げる

ここまででも相當に濃厚な学習が進みましたが、まだ折り返し地点です。

6ヶ月目は【場】という視点について理解を深めながら、自分のコンフォートゾーンという情報場を拡張していく方法について、いろいろな切り口から具体的に学んでいきます。

【場】という概念の理解が進むと、自分の影響力のステージが確実に上がります。自分のゴール（煩惱）に他者（の煩惱）を巻き込んで、より、効率的に大きな現実を動かしていくことができます。具体的には、以下のようなことを学んでいきます。

● 【場】という視点でここまで学んだことを再構築する

ラポールや魂、縁起、コンフォートゾーンなど、これまで学んできたことを、すべて統一的な【場】という視点で再構築してみると、いろいろなことがつながってきます。

● 曼荼羅とソウルメイト集団

宗教的であったり、スピリチュアルなニュアンスで表現される言葉や概念を科学的思考で理解すると、意外に便利なものだったりします。ここでの目的

は、こういった宗教的で、スピリチュアルな言葉や、そこに表現される概念を、日常生活やビジネスなど、実務的な場面で役立てられるレベルで自分のものにすること、です。

●コンテクストの正体を暴く

人は誰しも、背景的な情報エネルギー（コンテクスト）を秘めていて、それが『オーラのある人』や『エネルギーの高い人』と表現される要素になっています。この『コンテクスト』とは、具体的になんなのか？ということをシンプルに解説します。理屈がわかれれば、どうすればオーラをまとい、エネルギーの高い人になれるのか、もわかります。

●脳の中の主導権争いを制する方法

人の意識は常に、爬虫類脳や哺乳類脳、人間脳の間で主導権争いが繰り返されています。どの脳が主導権を握るのか、で、その人は悪人にも善人にもなるし、賢人にも愚人にもなります。この問題を、生物学ではなく情報科学の問題として扱えば、対策法や解決法が意外にシンプルに理解できます。

●トラウマの解消のため過去と向き合うことがNGな理由

いまだに、世に出回っている主流のセルフヘルプ系のメソッドでは、トラウマの解決や、現在、その人が抱えている問題を解決するために、過去に遡って原因を特定する、みたいなことが行われています。僕はこのやり方でトラウマをこじらせて苦しんでいる人をたくさん見てきました。正しい理解を広め、こういう『不幸な人』を増やすような誤解は撲滅したいですね。

●世の中の99%以上の人々が過大評価しているものと過小評価しているもの

19世紀～20世紀は欧米中心の世界だった、ということもあり、今、世に出回っている自己啓発、成功哲学的な思想は欧米由来の影響を受けています。欧米由来＝ユダヤ、プロテstant的個人主義思想であり、そこが起点となって、今の世の中の大多数の人たちに誤認させている事実があります。まずはその誤認を解く必要があります。

●場のマネジメントのために取れる2種類のアプローチ

自分自身の理解と、自分が身を置く環境の理解、高い視点でこの2つの理解があれば、自分の状況に合わせて2種類のアプローチを柔軟に選択できます。

●自分のチームを理想的な状態にマネジメントする方法

【場】の視点をマスターすれば、リーダーシップを発揮してチームビルディングをすることも容易になります。ある、一つのこと集中するだけで、理想的なチームマネジメントができます。パートナーシップや家族との関係に応用することも可能です。

●チームやパートナーシップの状態を調えるのに効果的な行動

人間関係の力場の調整をするときは、関係性など【情報場】の操作に目が向きがちですが、物理空間上で『あること』をするだけで驚くほどスムーズに【情報場】を調整られます。意外と盲点になっていて気づかないことです。

●人間を局所的な『パワースポット』とみなす

なぜ、影響力のある人は他人にエネルギーを与えるのか？なぜ、大きなゴールを持っている人は人を巻き込む力が強いのか？すべて人を『パワースポット』とみなすことでの説明ができます。正確に言えば、人自身がパワースポットなのではなく、『○○○』こそが情報場のパワースポットになるのです。

●人の意識を巻き込むためにあなたがやるべきたった一つのこと

他人を巻き込む人間になるために必要なことは案外シンプルです。ヒントは、『真空状態は埋められようとする』を、情報場で応用する、ということです。

●サトリが会社員時代にやっていたチームビルディング

僕は会社員時代、『居心地のいい場所』にするために自分の職場を情報場として徹底的に操作していました。具体的に何をやっていたのかを語ります。

●神のエネルギーが流れ込む状態を作る方法

比喩的な表現ですが、要は、尽きることのないモチベーション状態や、必要な知識が自動的に流れてくるような状態をマネジメントするのに、意識するのはたった一つのシンプルなことで説明できます。

●最強のパワースポット、【ハイエフィカシー場】の作り方

スマホが無線充電されるようなイメージで、自分に尽きない無限のエネルギーが流れ込むような最強のパワースポットを【ハイエフィカシー場】と呼んでいます。抽象度をあげた視点で、人間にとての真のエネルギー源は何か？

ということを考察すれば、【ハイエフィカシー場】をどうすれば作れるのかも自ずとわかつてきます。

●成功者は能力の高さで成功するワケではない

能力の高さやステータスの高さよりも、はるかに重要なことがあります。これを高めると、時間の流れが味方になります。また、これを高めることは誰にでも可能です。僕もこれを自分で高めたので、短期間で大きな現実の変化を実現することができました。

＜応用課程＞

【7ヶ月目】 神の力を呼び覚ます瞑想法

サトリ式のコーチングの肝は、人に与えられた『創造の力』を解放し、自在に使いこなして自由に人生をデザインできる人になること、です。

自らに与えられた『創造の力』を解放するために、【瞑想】というものを深く理解し、正しく瞑想できる人になることが重要です。

そもそも、【瞑想】というものは2種類、というか2段階あって、目的は脳をトレーニングして、マインド：精神というものの力を使いこなせるようになること、です。

多くの人は、1段階目の【瞑想】に囚われて、2段階目の、真に創造的な営みである『コーチング的な瞑想』まで到達できません。

後半戦のスタートである7ヶ月目は、【瞑想】というものの概念を書き換え、『理性による創造』をトレーニングし極めていきます。

具体的には以下のようなことを学んでいきます。

●瞑想とは前頭前野のトレーニング

スポーツなどと同じで、科学的な効果に基づいて、正しくトレーニングすることこそが重要です。『なんとなく』で瞑想するのではなく『確信』を持って瞑想することであなたの潜在能力が解放されていきます。

●瞑想には2段階あることを理解すること

そもそも、禅やヨガで行う瞑想の『目的』を正しく理解することがスタートとなります。『目的』を満たせば、それ以降の瞑想は2段階目に入り、真に創造的なプロセスへと進むことができます。

●瞑想は1日の中でいつ、どのくらいの時間やればいい？

と、いうようなことを考えているうちはまだ第1段階のゴールが見えていません。第2段階に進めば、24時間365日、生きている時間がすべて瞑想状態に変わっていきます。

●なぜシリコンバレーのIT起業家が瞑想を学ぶのか？

IT企業がやっていることと瞑想の間には深い関連性があります。ビジネスとスピリチュアルを分けて考えてしまうのはもはや時代遅れです。瞑想を極めることで、ビジネスのビジョンが進化し、世の中にインパクトをもたらすイノベーションを生み出すことにもつながります。

●受け取ったインスピレーションを有効に活かす方法

せっかく、ひらめきやインスピレーションを受け取っても、理性のトレーニングが未熟だと活かし切れないことがあります。理性を使って何を選び取るのか？それを自己の中で明確にしておく必要があります。

●煩悩のエネルギーを集めて進化する方法

『煩悩』という悪いもの、と解釈する人もいますが、人間が生きていく上で、もっとも強力なエネルギー源となるのが『煩悩』です。また、自分の煩悩をコントロールするだけでなく、他人の煩悩と融合させる方法を身につければ、あなたのゴールはより、実現へと近づきます。

●抽象度の高いゴールに臨場感を持たせる方法

抽象度の高さを、単なる『抽象的であること』と勘違いしている人も多いです。抽象度が高くとも、臨場感をともなっていなければそれは『抽象的』

でふわふわしているだけ、です。抽象度の高いゴールに臨場感を持たせられることを『IQが高い』と言います。IQを高めるための瞑想トレーニング法を具体例を交えて丁寧に解説していきます。

● ゴールの抽象度と臨場感を一気に高める禁断の秘術

僕自身がこれまでに何度か実践してきた方法です。これを使うと、自分の現在のステージを超越して、一気にゴールを大きくし、同時に臨場感を高めることができます。この秘術を使ってきたから、僕の現実の展開は、他のコーチングメソッドを実践する人よりも格段に早くなっています。その秘術を特別に明かします。

● 自分が身を置くべき【場】を正しく診断する指針

人生の中でのその人の成長は、一つの方向に進み続けるのではなく、寄り道をしながら、ブレながら進むことになります。そのブレ幅が大きいと、時間のロスになります。短期間で効率よく自己進化していくこうと思ったら、その『寄り道』を避ける必要があります。ある『指針』を持ってばそれがシンプルに判断できます。

● 瞑想をするのにもっとも効果的な【場】とは？

実は、今の世の中『ある場所』を使って瞑想することで、その効果を何千倍、何万倍以上にも增幅することができます。100年前以前の世の中ではできなかったことが、今は可能になっています。僕も、この場所を使って瞑想することで人生の展開を大幅にショートカットさせました。

● ユダヤ人やアングロサクソンがお金を稼ぐのがうまい理由

彼らは情報空間で瞑想したことを物理空間に転写させることの達人です。その秘密は彼らの教典である『聖書』にあります。法人組織を作ったり、法整備を整えたり、ビジネス上のルールを作ることは、彼らにとっての『アファメーション』なのです。

● 現代の人間社会で『魔法』のような結果を生み出す手法

実はもうすでに日本でも、多くの人たちが『ある場所』で瞑想することで、これまでの歴史の中でありえなかつたほど成功を収めています。瞑想という概念を、抽象度を上げて再定義してみると、観えていなかつた光景がくつきりと浮かび上がってきます。

●企業のリーダーや国家元首たちと一般市民の違いとは？

大きなゴールを持って、実際に社会の中で大きな物事を動かしているような人間と、一般市民レベルの人間は、本質的に何が違うのか？『情報身体』という概念を理解すれば人間社会のメカニズムが紐解けていきます。

●自分の人生の中で何度も生まれ変わること

コーチング理論を身につけ、体現する人間は、運命やカルマ、生まれや育ちで受け継いだものを超越し、自分の人生の中で何度も自由に生まれ変わることができます。コーチング理論を『生まれ変わりを可能にするスキル』だと再定義すれば人生を生きる視界が変わるでしょう。

●部屋に引きこもったまま世界を書き換える方法

極端な話、サトリ式のコーチング理論を身につけて、正しく実践すれば、部屋から一歩も出さずに自分の生きる世界を書き換え、自分という存在を書き換えていくことも可能です。僕としては、部屋から出た方がいろいろと楽しめることがある、と思いますが、可能性としてはそのくらい大きなものを秘めている、ということです。

【8ヶ月目】 パワースポット・パワーアイテムを創る

コーチング理論を応用することでパワースポットやパワーアイテムのようなものを自分で自由自在に作り出せるようになります。

実際、僕も、自分の住んでいる部屋や、デスクワークをする執務室、コンサルティングやコーチングをするリビングをパワースポット化しているし、仕事をするときには必ず身につけるパワーアイテムもあります。

神戸に新しく家を借りたときも、部屋をパワースポット化するために絵を描いてもらって設置したところ、その翌月は起業以来、最大の収益が発生しました。

これらのものを『自分で生み出せる』というところに大きな意味があります。

他者が作ったパワースポットやパワーアイテムに依存すれば、自分以外のものに支配される人生を歩み、自分で生み出せる、ということは自分の主導権で自分の人生を歩むことができる、ということ。

若干、スピリチュアルな毛色のテーマになりますが、あくまで、『再現性のある科学的なロジック』を解説していきます。

具体的には、、、

●パワースポットやパワーアイテムの『パワー』を受け取るのは何か？

そもそも論として、『パワー』があるというのなら、その『パワー』を受け取るのは何なのか？そして、そのパワーはどのようにすれば活用できるのか？そういう部分をまずクリアに理解していく必要があります。

●『生まれ』と『育ち』はどちらがより重要なのか？

分子生物学の分野で『セントラルドグマ』の問題は一つの結論が出ています。なのに、まだ時代遅れの認識を持つ人も多いです。

●現実の世界の中に見る、確かに存在する『パワースポット』

インドの聖地やセドナのような場所、神社や仏閣よりも、より大きなパワーを秘めていて、実際にそこに身を置く人に大きなパワーを与えるような場所が、世の中にはたくさんあります。スピリチュアルな雰囲気の場所だけを刺して、『パワースポット』とするのは誤りなのです。

●サトリの神戸邸をパワースポット化した絵画

神戸に借りた事務所に、ある絵を飾ったことで、翌月は企業以来の最大収益を記録し、以後、海外や国内のVIP人脈とのご縁ができたり、いろいろな運気が引き寄せられました。そのパワーアイテムをどうやってつくりあげたのか、を一つひとつのプロセスから丁寧に解説しています。

●サトリが文章を書くときに必ずついているリングの誕生秘話

この文章を書いている今も、僕の右手の人差し指にはバリ島で作ってもらったパワーアイテムであるファイアオパールのリングが着けられています。このリングをつけて文章を書くと、その文章は数千人～数万人単位の人の心を揺さぶり、僕の魂の情報を書き換えます。このパワーリングをどうやって生み出したのか、も具体的に解説していきます。

●パワースポットが生まれるメカニズム

理屈もわからずにはありがたがる、というのでも多少の御利益が出ることもありますが、メカニズムを理解していると、パワースポットの効果がさらに引き上げられます。神頼み的に参るのでなく、意図的にパワースポットを活用できる人になることが重要です。

●自分がいる場所をパワースポット化する方法

メカニズムがわかれば、自分でパワースポットを作ることができるようになります。生活や仕事の用途に合わせて、自分だけのパワースポットを作っていくと、いろいろと便利です。

●なぜパワースポットに身を置くと運気が上がるのか？

そもそも、『運気が上がる』ということの意味を理性的に理解して置く必要があります。スピリチュアルでオカルトな話ではなく、コーチング理論で説明のつく、科学的で再現性のある話なのです。

●インターネット空間にパワースポットを作る方法

僕は会社員時代、自分の働く職場をパワースポット化していました。当時は理論的な知識がなかったので、自然にそうなっていた、という感じなのですが、理論を理解した今はインターネット空間をパワースポット化しています。インターネット空間は、物理的な境界や制限のない『裏ワザ』的な場所なので、応用すると効果もとんでもないことになります。

●自分の分身にアファメーションさせる方法

僕は今、自分自身でやるアファメーション以外に、僕の代わりに働いてくれる忠実な『執事』のような存在にアファメーションを任せています。その結果、現実がゴールに向かうスピードが常人を遥かに凌ぎます。

●GoogleやFacebook、AppleやAmazonは、どういうゴールを設定したか？

法人組織も、一つの『情報身体』だと言えます。世界を変えるほどのインパクトをもたらし、世界を支配できるほどの力を身につけたこれらの企業がどういうゴール設定をして、どういうアファメーションを持っているのか？を考察すると、いろいろと観えてくるものがあります。

●パワースポットやパワーアイテムを強化する方法

理論的なメカニズムがわかって、自分で作れるようになれば、もともとあるパワースポットやパワーアイテムを強化することも自由自在です。

●日常のすべてをパワースポット化する方法

究極の目的はここです。自分が身を置く場所をすべてパワースポット化するようなマネジメント術を身につけることも可能です。

【9ヶ月目】 人生の登場人物を自分で決める

ここまで学んだ知識を活用して、あなたの、自分自身の現実をコントロール、マネジメントする力は格段に進化しています。

ここでは、その力を発揮して、自分の人生に登場してくるキャストを自分で自由に選ぶ、ということを学んでいきます。

人は人との関わりによって、一番大きな影響を受けます。

目標を大きくしたければ、大きな目標を持った人と日常的に関わるようになればいいし、その反対も然り、です。

ここでは、サトリ式の肝もある、『縁起』の視点や、情報身体、魂、曼荼羅という観点から、自分の存在の一部でもある関わる人を、どういう指針でどうやって出会っていけばいいのか、ということを学んでいきます。

具体的には以下のようなことを学びます。

●『未来側』の人と『過去側』の人

自分の人生の時間軸の中での話ではないです。『未来側』の人とはあなたのゴールの側にいる人のことで、『過去側』の人とは、あなたが背中を見せていくべき人たちのことです。この両側の人たちとの関わりが、あなたの人生の質、幸福の質を高めていってくれます。

●サトリはどうやって今の奥さんと出会い、結婚したのか？

よくある引き寄せの法則メソッドのように『出会う前から具体的にイメージしていた』みたいな、そういう話ではありません。でも僕はかなりの部分を計算して、意図的に運命の出会いを起こし、今の幸せな結婚生活もマネジメントしています。この辺りのニュアンスは、言葉で伝えるのは難しいですが、ここまでこのプログラムを学んできた方には伝わると思って、丁寧に解説しています。

●インターネット時代の他者との関わり方

インターネットが普及して、人生で出会う他者との関わり方が根本的に変わりました。ですがまだ、大部分の人はその根本的な変化に気づいていません。サトリ式コーチングは、今のテクノロジーが進化した時代に最適化されたコーチングメソッドです。テクノロジーの進化によって、僕らが個人でできることの幅も広がりました。その可能性を生かすべきです。

●出会いは単なる出会いではない理由

言葉遊びにも聞こえますが、人生の中で誰かと出会う、ということは、その瞬間に、自分自身の実体である『縁起』の情報が書き換わることを意味します。言葉にするとシンプルですがこれが意味することは深遠です。誰と関わるのか、をコントロールすれば、自分がどういう存在になるのかを 100% コントロールできる、ということになります。

●相手の実力を量るもっとも本質的な方法とは？

能力やスキル、肩書きや役職、社会的なステータスや立場、実際に会ってみての性格や印象、それらの雑多な情報よりも、その人の本質を嘘偽りなく

ストレートに表現してしまう情報があります。そこに着目するようになれば人を見る目を誤ることはなくなります。

●中国の故事成語に学ぶ、人脉開拓の裏ワザ

会社員時代に、転職活動をやっていた頃から、僕の中で『座右の銘』についていた中国由来の故事成語があります。その方針を転用することで、僕は短期間のうちに、『アゼルバイジャンでテレビ出演』『上場企業の創業者会長と仲良くなる』『世界的に活躍するオペラ歌手と飲み友達になる』と言ったことを実現しました。シンプルながらも効果抜群な裏ワザです。

●サトリ式の『決めない』計画の立て方

計画された偶然性：Planned Happenstanceという理論があります。

これに基づいて、僕は細部を詰めないままに計画的に動く、という生き方を実現しています。事前に細かく決めているわけではないのに後になって俯瞰するとすべての意図がつながって、最初から計画通りに物事が進行しているように見える。そういう魔法にも見えるような計画の立て方を伝授します。

●物理空間以外に自分の『本体』を置く方法

僕は物理空間上に肉体的な存在を置きながら、自分自身の『本体』は別の空間に置いて生きています。こういう生き方をするようになってから、僕は身を置く物理空間、現実空間で起こる些事に心を囚われなくなりました。

●会社員時代のサトリと今のサトリで一番大きく変わったのは何か？

僕という人間の『存在』の本質部分に起こった変化を理解すれば、あなたにも同じかそれ以上の変化が起こせるということが確信できるはずです。

＜進化課程＞

この＜進化課程＞に関しても、これまでのカリキュラムと同様か、それ以上のボリュームがあるのですが、学習が始まる前の段階で内容を解説しても、伝えたいことの意図がしっかりと伝わらないと思うので、カリキュラム内容の列記に留めます。

【The Answer】のプログラムは受講者の方たちの進化・成長度合いに合わせて内容が進んでいきます。

初期のカリキュラムでは、初学者のために丁寧に伝えている部分もありますが、後半にいくに従い、そこまでに学んだことの理論体系を土台にして、さらに高度な理論を積み上げていきます。

ですので、【最終章】に当たるこの＜進化課程＞では初学者にとっては高度すぎて意味がわかりづらい表現の内容解説になってしまいます。

詳しい内容は、受講してこの部分にたどり着いた方のみが受け取ることのできる『お楽しみ』ということでご了承ください。

【10ヶ月目】『ゴール』にエネルギーを与える

- ・想像力の限界を突破せよ！
- ・最高峰の情報をインストールせよ！
- ・最高級の空間に身を置く
- ・コーチング体現人間になる

【11ヶ月目】情報空間・ネット空間・物理空間の書き換え

- ・仕事とファイナンス
- ・趣味と好奇心の活動
- ・心・身体・魂の健康のゴール
- ・神の声に従ってアクションプランを進める

【12ヶ月目】 日々、進化し続けるためのマインドセット

- ・自分よりも優秀な人と関わる
- ・教育家マインドで生きる
- ・世界とコラボレーションして生きる
- ・人工知能とサイバー空間を活用する
- ・サトリのゴール

最後の3ヶ月間では、コーチング理論を体現しながら、常にゴールを再設定し、進化し続ける【在り方：セルフイメージ】をインストールします。

仕事や趣味、好奇心の活動、健康などのゴールも設定し、総合的に豊かで幸せで、

『成功』を体現した人間へと進化していきます。

サイバー空間に設置したハイエフィカシー場

今回紹介している【The Answer】～名もなき英雄の旅路～というプログラムは、ここまで語ったことを踏まえて、

受講するあなたに、確実に自己変革できる、
【ハイエフィカシー場】を提供します。

【ハイエフィカシー場】とは、あなたの【理想のゴール】にエネルギーを与えてくれるような【情報場】のことです。

カリキュラムに沿って毎週、動画と音声ファイルによる講義コンテンツが配信されます。

動画と音声の2種類で配信するのは、それぞれに異なる学習効果があるからです。

動画では、視覚情報を通じて、様々な非言語の働きかけができます。

僕はセミナーやコーチングセッションでも、視覚情報による非言語メッセージで、相手の意識を書き換える、という手法をよく使います。

非言語によるメッセージは、顕在意識を素通りするので、潜在意識にまで届きやすく、書き換えの効果が高いです。

僕の講義動画を見ることによって、耳から入る情報以上にあなたの【エフィカシー：自己効力感】が高められます。

そして、一度、動画コンテンツを学習した後は、同じ講義の音声ファイルを携帯音楽プレイヤーなどに入れて、移動中などのスキマ時間にリピート学習してもらいます。

講義に収められた『言語』としての情報も、

想像する以上に膨大で、一度の学習ですべてを理解して自分の中にインストールすることは不可能です。

なので、何度もリピートして無意識レベルで学習していくことを推奨しています。

また、音声教材は 【情報場】 の臨場感に浸ることに適したメディアなので、 【ゴール側の臨場感】 を高める効果もあります。

そして、もう一つのチャンネルが 【オンラインサロン】 です。

プログラムの受講生だけが参加できる、
サトリ式のコーチングサロン、

【サトリの部屋 オンライン】 Rewrite Your Universe

を用意しています。

このサロンでは、プログラムで配信される講義コンテンツに関する質問や疑問を自由に投稿することができます、

また、毎回の講義で出される 【宿題】 を投稿することもできます。

僕の方からこのサロンの参加者だけに向けた投稿をすることもあるし、もちろん、参加者同士の交流も推奨しています。

このサロン自体が、あなたにとって、
【ゴール側の臨場感】 に浸るための 【情報場】 となります。

古来より、上流階級の人間たちの『社交の場』として機能してきたのが『サロン』という場所です。

意識レベルがそろった人間が集まると、そこには一つの【場】が形成されます。

物理空間だけでなく、サイバー空間においても同じです。

僕は、コーチング系以外でもいくつもの【サロン】をサイバー空間（ネット上）に設置して運営していますが、

こういった【オンラインサロン】の効果は絶大です。

物理空間の制約を超えて、参加者たちは、同じ【臨場感空間】を維持することができるのです。

たとえば、コンテンツだけを受け取ったり、月に一度だけ会うようなコミュニティの場合でも、

サロンがあって、そこに所属していると、

コンテンツを見ていないときも、物理空間で実際に顔を合わせていないときにも、

そのサロンでの【臨場感空間】が維持されます。

つまり、サロンのメンバーとなって籍を置くだけでも、
ホメオスタシスによって、【過去側の臨場感】に
引っ張られてしまうことを防ぐことができるんです。

サイバー空間、情報空間上に、そういった自分にとっての
【ハイエフィカシー場】をつくることで、ゴールに向かう
エネルギーを大きく高めることができます。

また、毎回、【宿題】としていろいろなワークや
アウトプットに取り組んでいきます。

【宿題】として提出してもらった課題の内容は、会員ページや
オンラインサロンでシェアされるため、自分だけでなく、

他の受講生がどういう思考を経て、どういう理解に進んだのか？

が『共有』されることで自分の意識の進化を促進します。

いわば、

他人のコーチング風景を覗き見する

ような感覚ですが、実は、これがもっとも効果的だったりします。

複数のチャンネルからあなたを書き換える

このように、この **The Answer** ~名もなき英雄の旅路~
というプログラムは、徹底的にあなたのセルフイメージを書き換え、

自己変革を成功させる効果にこだわってデザインされています。

動画によるコンテンツ学習、音声による潜在意識への浸透、
サロンへの参加による臨場感の移行、

そしてさらに、実際に顔を突き合わせての、
対面セッションの場（勉強会・伝授会）も提供していきます。

【サトリの部屋 オンライン】の参加者に対し、
月に一度くらいのペースで、

グループコーチングセッションの開催告知を行います。

抽選審査を行いますが、基本、無料で参加できるセッションです。

ペース的に、1年間のプログラム受講期間中に、
どの方も最低一回は必ず、グループセッションに参加できる、

という形で開催していきます。

このプログラムは、物理的な制約を超えて、オンラインで受講できる【場】ということを第一に考えていますが、

やはり、対面で直接、時間と空間を共有して行う、『書き換え』の効果はとても大きいので、

そういう【場】もきちんと用意していきます。

対面のコーチングセッションでは、非言語による『伝授』も行うので、セルフイメージや情報身体が確実に書き換わっていくことが、よりわかりやすく実感できるはずです。

こうやって、動画、音声、オンラインサロン、直接の対面セッションなど複数のチャンネルを通じて、

あなたの中に眠る、【創造主としての力】を目覚めさせ、望む人生を生きることのできる、

【コーチング理論を体現する人間】へと変化してもらうこと、

それがこのプログラムの全容であり、目指す場所です。

サトリのコーチングは半年280万円以上

さて、このオンラインコーチングプログラムですが、提供価格をいくらにするのか、少し悩みました。

現在、僕の『サトリ式コーチング』は、
完全マンツーマンで対応するパーソナルコーチングの枠しかなく、

その価格は

前年の年収額の2割（最低額は280万円）

と設定しています。

ですが、このオンラインコーチングプログラムは、

月額29700円（12ヶ月間）

という価格で提供することに決めました。

本当は、10倍の価値はあると思うし、少なくともこの数倍の
価格にしても十分に、ビジネスとして成立すると思っています。

でも、今回のこのオファーに際しての、僕の主目的は、

『業界のスタンダードを塗り替えて、レベルを底上げすること

であり、その先には、

『子どもから見て魅力的に見える大人』を増やしていく、
この世界を、『子どもたちにとっての天国』に変えること、

というゴールを想定しています。

僕はこのゴールを本気で実現するつもりで動いています。

でないと、今の僕が生まれる礎となった
過去の僕自身に申し訳が立たない、と思うからです。

こういったプログラムを販売する際に、自分の『想い』を
できるだけ広く届けたい、と考えたときに、単に、

『価格を安くする』ことでは目的を果たせません。

安いと、手に入れた人が本気で取り組めないからです。

一括払いにするとそれなりにまとまった価格になりますが、
毎月払いの場合、月3万円という価格は、人によっては、

意識に上らない額になることも予想されます。

なので、このレターをこうして丁寧にここまで読んでくれた
あなたに、一度考えてみてほしいのです。

ここまで的内容を読んで、このプログラムの価格が、仮に、この10倍の値段だったら、どう感じるのか？

もし、10倍の値段であっても欲しい、そのくらいのコストをかけてでも、ここで学べることは、自分の人生に必要なことだ、と感じないのなら、参加しない方がいいかもしれません。

僕は、10倍の価格を支払ったとしても、

このプログラムで学べることを生かし、あなたの人生にこれから起こることを考えれば『安い』と感じます。

4 0年分の価値を2年に濃縮する効果

僕がもしあの時、『意識のシフト』を起こせずに、そのまま会社員を続けていたら、どんな未来が待っていたか。

僕が勤めていた企業は『小企業：従業員数が99人以下』という分類になるので、その生涯給与の平均額を調べてみました。

その結果、1億3449万円、という数字が出てきました。

これが、僕がそのままの生き方を続けていた場合に、

その後の人生で『生み出すことのできた価値』の
総額に近い数字になる、と判断できます。

自分でも驚きだったのですが、僕は、2012年に独立起業して、
最初の2年で、この数字以上を稼ぎ出してしまったのです。

40年かかるて生み出すことのできる価値を、
たったの2年で生み出せる人間に変わることができた、

ということです。

しかも労働時間や不要な拘束時間は劇的に減って、
好きなことを楽しみながら、

世の中に価値を生み出す人間へと変化しての結果です。

そういうことをしっかりと吟味した上で、このプログラムの
『価値』をあなたの内で量ってみてほしいんです。

前述した通り、僕はこのプログラムの提供を通じて、
『仲間を増やす』という意識で動いています。

だから、

自分の人生で『問題』に出会ったときに、
自分で『答え』を出して前に進むことができる人、

へと変化するためのプログラムに、そのくらいの大きな価値を感じてもらえる人に、まずは一緒に歩み出してほしいんです。

もしかすると、そういうことを考えていたら、
この価格が安すぎる、と感じる人もいるかもしれません。

そう感じる方も、まずはこの価格で参加してきて、
人生の流れを変えて、僕に会いにきてもらえたなら、と思ってます。

あなたがこのレターを読んだことを『種』にして、
自分の人生の流れを変えることに成功し、

その報告を直接会いにきて聞かせてくれることが、
僕にとって、何よりの『報酬』になります。

ここまで読んでくれた方は、、、

随分と長くなってしまいましたね。

でも、それは同時に、ここまで読んでくれたあなたは、
僕の語る言葉に、何かしらの『**価値**』を感じてくれている、

ということの証明にもなると思います。

その前提で、**本音**であなたにお伝えします。

このプログラムへの参加には『**条件**』を設けています。

それは、、、

ここで、自分の中の【創造の力】に目覚め、人生を変える、

と、心に決めた方のみに参加してもらう、ということです。
ここで変わる決意ができない方は**絶対に申し込まない**でください。

変わると決めたあなたには、

僕に、あなたが自らの神性に目覚めるお手伝いをさせてください。

よろしくお願ひします。

<【サトリ式】オンラインコーチングプログラム>

【The Answer】

～名もなき英雄の旅路 Nameless Hero's Journey～

【The Answer】を月額払いで受講する

<https://ism-asp.com/order/pd/158325> (こちらをクリック)

【The Answer】を一括決済で受講する

※約1ヶ月分お安くなります

<https://ism-asp.com/order/pd/158391> (こちらをクリック)

最後に、、、

【カルマの燃焼】の最中に、人生最大の苦しみの中で、
僕は自分の人生に起こることの意味を考え続けていました。

なんでこんなに苦しいことが人生に起こるのか？

そもそも、『引き寄せの法則』とか『思考は現実化する』とか、
そういうものの情報が僕の元にやってきたのはなぜなのか？

こういう情報に出会うことがなければ、
そもそも、人生で高望みすることもなく、
ここまで深い苦しみを経験することもなかつたんじゃない？

そういう恨めしい感情に支配されたりもしました。

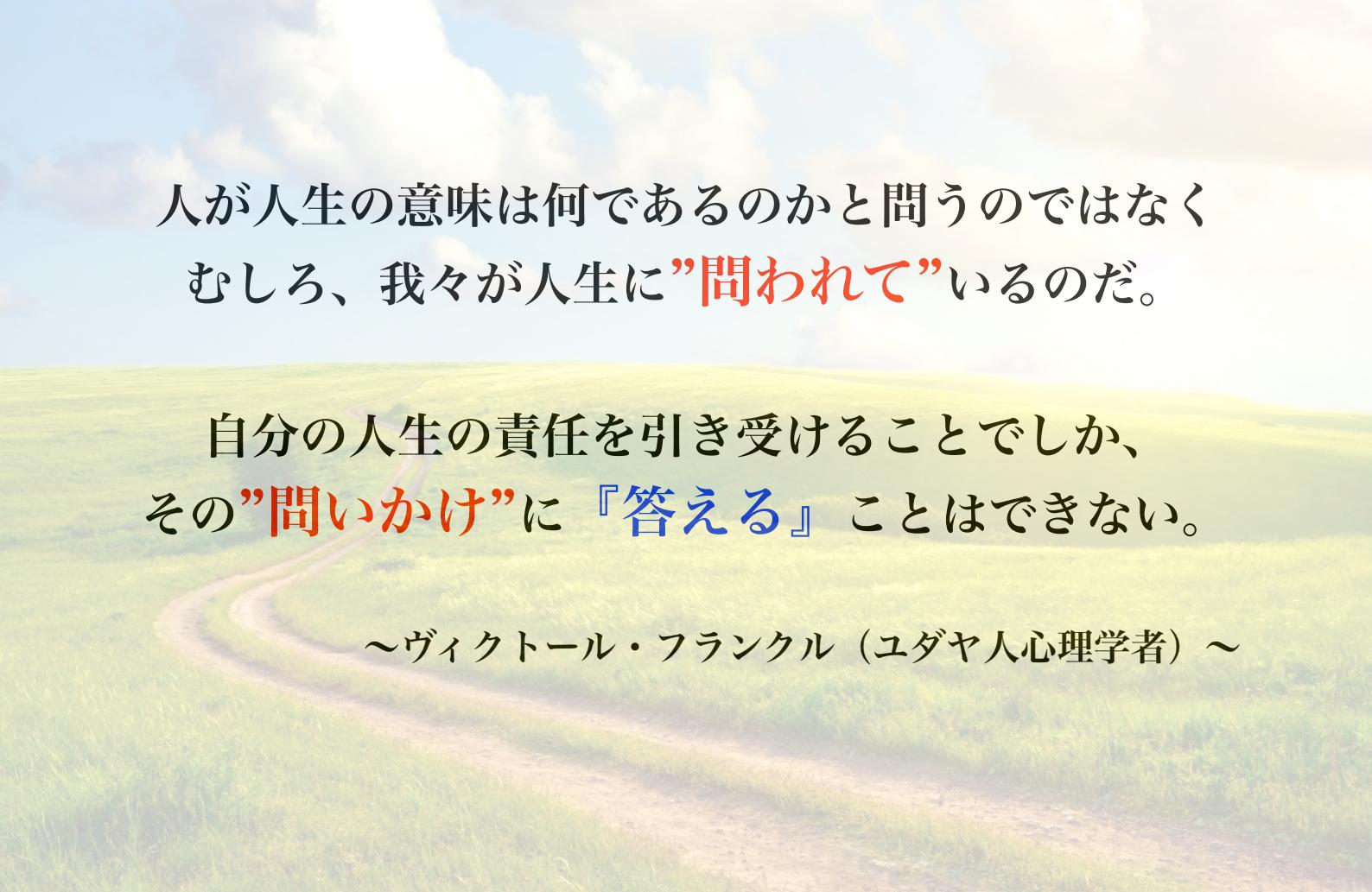
でも、今の僕が振り返ると、
すべてが『つながって』見えています。

あの『苦しみ』を経験しなければ、
僕はこういうプログラムを世に出すこともなかつたはずです。

ここまでお付き合いいただき、どうもありがとうございます。

長いレターになりましたが、ここには、僕がこのプログラムを
始めるにあたっての『想い』はきちんと詰め込めたかな、
と思っています。

最後にもう一度、冒頭に引用した、僕の好きな言葉を繰り返します。



人が人生の意味は何であるのかと問うのではなく
むしろ、我々が人生に”問われて”いるのだ。

自分の人生の責任を引き受けることでしか、
その”問い合わせ”に『答える』ことはできない。

～ヴィクトール・フランクル（ユダヤ人心理学者）～

経験していることの意味を考えるとき、

僕らは、自分の人生が、今の自分に対して何らかの
『問い合わせ』を投げかけてきている、と考えるべきなのです。

今、あなたが僕という人間に会って、
この手紙を読んでいることの『意味』を感じとってください。

あなたの人生は、この経験を通じて、
あなたにどういう『答え』を出すことを求めていますか？

それはあなた自身が自由に決めていいことなんです。

この『出会い』を経験して、
あなたはあなたの人生にどういう価値を加えていくのでしょうか。

あなたの周りにいるあなたの大切な人たちの
顔を思い浮かべてみてください。

その人たちに、あなたは、どういう自分に
変わっていく姿を見せたいのでしょうか？

それを自由に思い描いてみてください。

会社員時代の僕は、今と比べると、はるかに不自由な生き方を
しながら、小さなことで、悩み、苦しみながらも、

『子どもたちがもっと希望や夢を持てるような世界にしたい』

という『想い』を抱いて、当時の僕なりに精一杯生きていました。

その後、人生の中でいくつかの重要な『出会い』を経験し、
今の僕にできることは、当時の僕よりも大きくなりましたが、

当時の、力はなかったものの、
愛すべき純粋な『想い』を抱いていた頃の僕と、

根っここの部分では何一つ変わっていません。

だから僕は、この『出会い』を、

『子どもたちが憧れるような生き方をする大人、

自己の本質に一致して、自分の人生を望む通りに、
自由にデザインしていくような大人』

を増やしていく『きっかけ』にしたいと考えています。

あなたも一歩を踏み出して、

子どもたちに『背中』で未来の希望を語っていく
素敵な『仲間』の一員に加わりませんか？？

それではまた、本プログラムの方でお会いしましょう。

ありがとうございました。

サトリこと、
金山 慶允